

	年月日	いじめ要因が疑われる子どもの自殺・事件概要(大学生を含む)
1	1962/5/12	京都府京都市左京区の京阪京都線で、近畿大学商経学部の男子生徒(大1・19)が、飛び込み自殺。 自宅から「学校に行くのがいやだ。応援団がこわい。入部をすすめられて、待ってくれというのに入部届けを書かされ、指印まで押させられた。そして10日正午までに来いと言われた。学校には民主主義はなく、ヤクザのようだ」と便箋3枚にびっしり書いた遺書が見つかった。
2	1966/3/17	広島県廿日市町の中学校の男子生徒(中2・14)が、友人から「デブ」とからかわれるのを気にして、通信販売のやせ薬を服用するなどしていたが、ノイローゼ気味になり、自宅の二段ベッドの手すりにロープをかけて、首吊り自殺。 前日からの修学旅行にも参加していなかった。
3	1966/11/11	埼玉県三郷町の私立共栄学園高校の女子生徒(高1・15)が入水自殺。水死体で発見される。 女子生徒は内気で人前に出るのが苦手だが、赤い羽根の街頭募金の責任者に選ばれ、学校を休んだ。 10/5 登校すると、朝のホームルームの時間に「無責任だ」と級友から詰問された。以後、ふさぎこみ、遺書を残し家出をしていた。
4	1973/9/3	埼玉県越谷市の自宅で、東京都立江北高校の山本有浩くん(高2・16)が感電自殺。 6/8 有浩くんは、日教組批判の新聞記事を学校新聞に掲載しようとして、担任教師や新聞部の先輩に見つかり、集団リンチを受けた。顔や背中に大けがをし、11日間の入院。それ以降、登校していなかった。 遺書には「体育館で記事について責められ逃げ場がなくなった。助けてくれと叫んでも助けてくれるものはいなかった。死ねばみんなが喜んでくれるだろう」と書いていた。 学校や日教組は、リンチなどの暴力沙汰を否定。 10/11 被疑者不詳のまま、傷害罪で告訴。
5	1974/11/28	福岡県の女子高校でリンチ。被害の女子生徒が自殺。
6	1975/5/6	東京商船大学の杉本和也さん(大1・18)が、寮から12、3分の距離にある大島川に飛び込み自殺。 学生寮の酒宴の席で、上級生(大4)に「君は部屋の掃除もしないし、先輩にあいさつもしないで生意気だ」と叱られ、酒を残したことを「もったいないことをするな。全部飲んだらどうだ」と言われた同大は全寮制だが、杉本さんはなじめず、「家に帰りたい」と時々もらしており、ホームシック気味だった。
7	1975/11/20	新潟県加茂市の公立加茂農林高校(定時制高校)の男子生徒(高4・19)が、同じ学校の非行グループ5人から度重なる暴行や嫌がらせ、リンチ、恐喝をされて、生物部部室で自殺。 男子生徒は恐喝を姉に相談。姉から聞いた両親が担任教師に相談し、事実調査を始めたが進捗せず、警察に調査を依頼した。 これをきっかけにグループからの仕返しを恐れ、日頃、親しくしていた同級生からも疎外されるようになっていた。また、グループが男子生徒に窃盗の罪をきせようとしたことが発覚して、学校はグループの1人を謹慎処分にしたが、逆恨みしたグループから休み時間ごとに取り囲まれ責められていた。 両親は、「学校側が保護・監督・指導を怠った」として、地裁に調停を申し立てたが、学校側は「手落ちがなかった」と主張して、調停は不調に終わる。

		遺族は県と加害生徒の親に計2600余万円を賠償請求。 1981/10/27 新潟地裁で、遺族の請求を棄却。	
8	1977/5/28	大阪府松原市の府立大和川高校の女子生徒(高2・16)が、タイマースイッチを使って感電自殺。 両親や友人にあてた絵葉書11枚の遺書に、「先立つ不孝をお許ください」「強がり言ったけど私は気の弱い人間でした」「みんな仲良くして下さい」などと書かれていた。 2週間ほど前、女子生徒は、同級生の女子生徒(高2)に「あんたは字がへたや」と言ったことから、女子生徒のグループ7人に呼び出され、自転車のロック・チェーンで背中を殴られたり、小突かれたりした。以降、「学校に行きたくない」とふさぎこんでいた。	
9	1978/1/8	埼玉県小鹿野町の県立皆野高校の男子生徒(高1・15)が3学期始業式の前日、自宅台所で首吊り自殺。 男子生徒はホッケークラブに所属していたが、1977/11/末からクラブを休んでいた。12/「ホッケークラブが嫌になった。あまりにきついので耐えられない」と話していた。死の2、3日前にも「9日から登校すれば休んだ分だけみんなにしごかれる」と漏らしていた。	
10	1978/4/2	兵庫県六甲山で、男子中学生がいじめを苦しんで首吊り自殺。	
11	1978/5/14	東京で、不良仲間にいじめられた中学生(中3)がガス自殺。爆発、出火し、団地2戸全焼。	
12	1978/5/16	兵庫県和田山で、中学生が「友人に金ゆすられた」とメモを残して、首吊り自殺。	
13	1978/10/31	東京都府中市の市立住吉小学校の教室で、女子児童(小4・9)が首吊り自殺。 この日は給食調理員の時限ストで生徒たちは弁当を持参した。3時限目の授業が終わった休憩時間に女子児童が口をもぐもぐさせていたことから、男子児童2人が「弁当を食べたろう」とはやし立てた。女子児童は「食べていない」と言って、黒板消しで男児をたたき、筆箱や鉛筆を投げつけた。これを見た担任教師(28)に「そんな乱暴しちゃだめよ」と注意されていた。 府中市は、学校管理下に発覚した事件であるため、「日本学校安全会」に遺族への死亡見舞金を申請。	
14	1978/11/11	熊本県で、中学生(中2)が友達にいじめられたとして、首吊り自殺。	
15	1979/1/19	東京都足立区の区立三中の三沢貴央くん(中2・14)が、自宅で首吊り自殺。 遺書に「学校に行くと毎日毎日いやなことばかり、いいことなどは全然ない。2年1組のみんなもぼくと入れ替わればわかるよ。いまどうしても涙がとまらない。ぼくが活着ている間、ひとつだけ作りたいものがあった。それは、心から話しあえる友達がほんとうにほしかった。話し相手はハムスターだけ。一人でいい、一人でいいから心から話し合える友達がほしかった。ではさようなら」と書かれていた。 昨春から同級生に再三けがをさせられ、1978/10/首を絞められて1カ月のむち打ち症になっていた。	
16	1979/2/10	宮城県石巻市の県立宮城水産高校漁業科の教室で男子生徒(高1・15)が柔道着の帯をストーブの煙突にかけ首吊り自殺。 カバンの中のノートにいじめを訴える内容が書かれていた。	
17	1979/6/22	香川県木田の男子生徒(高1・16)が、校内暴力の被害者となり、「もう疲れた」と首吊り自殺。	
18	1979/6/28	東京都日野市の男子生徒(中1・13)が、「いじめられるから」と登校拒否の後、首	

		吊り自殺。	
19	1979/9/1	長野県小県の高校で、土木科の男子生徒(高1・15)が、「先輩に服装のことでうらまれました。もう学校に行くのもいやになった」と遺書を残し、自宅納屋で首吊り自殺。男子生徒は1週間ほど前、学校でボタンダウンのワイシャツを着ていたのを先輩(高2)に咎められ、7、8人に小突かれた。両親からの連絡で、学校側が2年生に注意したことから、同日、「学校に知らせたな」と殴られていた。	
20	1979/9/9	埼玉県上福岡市の市立第三中学校の在日朝鮮人3世の林賢一くん(中1・12)が、「壁」と呼ばれるなど、いじめを苦に、カラテ着姿でマンションから飛び降り自殺。1979/6/18 「A、B、Cなどにいじめられて、学校に行くのがいやになって生きているのもいやになりました。ぼくは自殺します。さようならみなさん」と遺書を残して、自殺未遂をした。翌日、担任は「これ以上いじめると林は自殺するよ。昨日、自殺未遂をしているのだから」と話した(裁判で、5人の生徒が証言。担任教師はあくまで否定)。以降、自殺未遂をネタに「死ね」などと言われ、いじめがエスカレートした。	
21	1980/9/4	埼玉県川越市で工業高校の男子生徒(高1)が、学校で禁止されているパーマを注意され、14階建てマンションから飛び降り自殺。非行グループの仲間に引き入れられ、「カンパ」を強要されていたことが調査で判明。	
22	1980/9/16	大阪府高石市の市立中学校の中尾隆彦くん(中1・12)が、自宅近くの倉庫で首吊り自殺。 同年6月から9月まで、同級生に約30回の暴行を受け、約30万円近くを恐喝されていた。学校は、いじめの事実を父親から聞き、加害生徒や隆彦くんから事情を聞いたが、深刻には受け止めなかった。その後も、母親から、4人の生徒からもっと事情を聞いて欲しいと電話があるが、生活指導主任に「4人の生徒を呼ぶのは、もっと事情を調べてからでよいのではないか」と言われ、そのままになっていた。 1981/5/19 両親が高石市と加害生徒を提訴。 1986/3/31 大阪地裁堺支部でこの教訓を教育行政・教育現場に生かす、加害者両親が連帯して200万円の慰謝料を支払うことで和解。	
23	1981/2/8	大阪府で、高校生がいじめ自殺。	
24	1981/3/2	宮城県桃生で、男子児童(小6・11)が、「友だちにいろいろいわれるので」と遺書を残して、首吊り自殺。	
25	1981/5/8	兵庫県尼崎市の中学校の女子生徒(中2)が、「学校でいじめられる」として、自殺。	
26	1983/5/10	秋田県で、男子生徒(中3)が、ぶら下がりがり健康器にビニールのひもをかけて首吊り自殺。 「赤茶けた色の髪と顔の色が白いことから外人の子と学校で友だちにバカにされる。死ねば立派に生まれ変わる。」という内容が書かれたノートの切れ端がズボンのポケットに入っていた。	
27	1983/5/11	埼玉県坂戸市の中学校で、ミッチェルというなぐりっこをする遊びで集中的にやられた男子生徒(中1)が、暴力を恐れて自殺。	

28	1984/1/23	静岡県浜岡町の町立浜岡中学校の用務員室内のシャワー室で、男子生徒(中2・14)が首吊り自殺。 男子生徒は、首の回りが少し不自由な「斜頸(しゃけい)症」で、この日も何人かが、男子生徒の背中に、体が不自由なことをからかうような紙を貼り付けたり、うしろから抱きつき、首をひっぱって伸ばすようなしぐさをした。	
29	1984/2/13	愛知県稲沢市大里中学校のクラスで、いじめっこの存在の男子生徒(中3・15)が、いつもいじめていた同級生(中3)から、「やくざの兄ちゃんがついている。一度お礼をしなけりゃいかん」と言われ、仕返しを恐れ、神社の境内で灯油をかぶって焼身自殺。 ノートには「脅かされた。怖いので死ぬ」と走り書きがあった。	
30	1984/4/23	中学校の男子生徒(中2)が、休み時間に同級生からからかわれたのを苦に、首吊り自殺。	
31	1984/11/12	宮崎県宮崎市で、女子中学生(中3)12階建てマンションから投身自殺。 頭髪検査の前髪の長さで、自分だけがパスしたことをきっかけに、同じクラスの親しい友だちからいじめられるようになったことを苦しめられたとみられる。手帳には8人の同級生の名前が塗りつぶしてあった。	
32	1985/1/17	静岡県富士見市の市立中学校の男子生徒(中2)が踏切自殺。 同じ中学の同級生(中2)に金を持ってくるよう言われ悩んでいたという。現場近くに脱ぎ捨てられた靴の中に「皆さんごめんなさい。先に天に登ります」とメモがあった。	
33	1985/1/20	岩手県岩手郡滝沢村の村立中学校の芋坪(おつぼ)浩くん(中2・14)が、3学期始業式の前日に自宅の風呂場でガス自殺。 学校内でいじめは日常的にあったと、父母の一部は認めている。少なくとも1年の時、浩くんは『クラスの人が自分の悪口を言っている』などと当時の担任に訴えたことがあった。保護者はいじめが原因とするが、学校側は「思い当たらない」とする。 盛岡署は「内向的性格による厭世自殺」として処理。	
34	1985/1/21	茨城県水戸市の笠原中学校の村口江梨子さん(中2・13)が、「うそをつけてごめんね」「もういじめないでね。好きなマンガの本を棺の中に入れて下さい」などと走り書きしたメモを残して、自宅脇の電柱で首吊り自殺。 女子生徒は教科書に落書きされるなどのいじめを受けていた。母親が学校に電話をして、校長に娘がいじめられた事実を話したが、「担任が出張しているので伝えておく」と答えただけで、その後、連絡がなかった。また、親と教師の二者面談で、再度いじめのことを話すが、担任は「そうですね。いじめがあるんですよ」と答えるだけだった。3日間、江梨子さんは無断欠席するが担任から問い合わせがなかった。 自殺当日、6人の同級生が「先生に様子を見てこいと言われた」と言って家に押しかけ、家を取り囲み、石をぶつけて、「出てこないで踏み込むぞ！」と大声で叫んでいた。また、母親の留守宅に強引に上がり込んで「うそつき、死んでしまえばいい」などキツイ言葉を浴びせていた。 自殺後、校長も担任も、江梨子さんがいじめられていたことを「全く知らなかった」と話した。	
35	1985/2/6	大阪府高石市で、市立中学の女子生徒(中1)が、住んでいる団地の14階から飛び降り自殺。3/18 死亡。 現場の通路に置かれた通学カバンの中の大学ノートの一冊に2月3日付で、「○	

		<p>〇が寝しずまるころ 世界に平和がもどる 〇〇が目覚めるころ 世界がほろびる ほら みんなが、わら人形を作っている。」と書いていた(〇〇は生徒の個人名)。 女生徒はクラスのいじめられっこの一人だった。男子生徒に口汚く罵られたり、からかわれていた。 1986/4/1 慰謝料200万円で和解。</p>	
36	1985/2/7	<p>静岡県伊東市の市立小学校の女儿(小6)が自宅近くの雑木林で首吊り自殺。 昨年10月に学級委員になった時、「友達が言うことをきいてくれない」ともらしていた。年明け早々、友達の悪口を言ったとしてムシされていた。「風になって死にたい」などと言っていた。</p>	
37	1985/2/12	<p>和歌山県川辺町の組合立中学校の男子生徒(中2)が自宅倉庫で首吊り自殺。 日頃、同級生に「のろま」とからかわれたり殴られたりしていた。2/8 クラス男子生徒4人に嫌がらせのハガキが届き、筆跡が似ているとしてリンチを受けていた。</p>	
38	1985/2/15	<p>神奈川県鎌倉市の男子中学生(中1)が自殺。いじめか？</p>	
39	1985/3/10	<p>香川県仲多度市で、男子中学生(中2)が、いじめを苦に飛び降り自殺。</p>	
40	1985/3/11	<p>茨城県筑波市で、男子中学生(中3)が、いじめを苦に首吊り自殺。</p>	
41	1985/5/22	<p>東京都大田区立羽田中学校の女子生徒(中3・14)が自宅の都営住宅8階から飛び降り自殺。 学校は「事故死」と報告。父母は背景に「いじめがあったのでは」と指摘。 1986/1/10 同級生13人を補導、内6人を書類送検。</p>	
42	1985/8/18	<p>岩手県滝沢村の村立中学校の女生徒(中3)が盛岡駅近くのデパートから飛び降り自殺。9/10 死亡。 デパートの非常階段5階踊り場に時計やハンケチと手提げカバンが残されており、ノートには「楽しい夏休みを有難う。でも、どうしても学校には行きたくありません。私なんかいない方がいいと思います。」「死にたい」などと書いていた。 9/29 女子生徒が使っていた下敷きの中から、原稿用紙が見つかる。 「くつをかくされたりする。うしろから押ししたりする。大きい声で冷やかす。原因。鈍感だから。馬鹿だから。先生にしてほしいことと・・・『チビ・デブ・短足』と体の欠陥を言う。『気持ちわりい』という。私だけじゃなく『お父さんはいいけれどお母さんが・・・』とか家族のことを言う。私のことならすべてを知ろうとする。私がすぐ先生に告げ口するという。」など書かれていた。 家族は学校でのいじめが原因とするが、学校・村教育委員会は「原因は学校にはない」と否定。</p>	
43	1985/8/26	<p>三重県城山町で、私立日生学園高校の剣道部合宿中、多田武秀くん(高1・15)がいじめやしごきを苦に本館屋上の時計塔窓から飛び降り自殺。 8/22 剣道部の合宿に参加するため帰省先の自宅(東京都足立区)を出たが、途中の名古屋市内でビルの屋上から飛び降り自殺をしようとして、警察に保護された。 8/23 母親に付き添われて同校に行き、合宿に参加していた。 1991/9/ 津地裁で、学校の手落ちを否定。遺族の訴えを棄却。 1991/9/26 名古屋高裁で、「本人が数日前に自殺未遂したことを学校側は知らされていなかったうえ、本人にも死をうかがわせる深刻な表情がなかった」として、棄却。</p>	

		1993/3/18 で、最高裁は上告を棄却。	
44	1985/9/1	兵庫県西宮市で、中学校の始業式の朝、女子生徒が飛び降り自殺。あだなを嫌がっていたという。	
45	1985/9/26	<p>福島県いわき市の小川中学校の佐藤清二くん(中3・14)が、番長グループから恐喝されたり、盗みを強要されるなどの、いじめを苦に自殺。</p> <p>父親は息子が学校に行きたがらないのを心配して担任教師に相談したが、「いじめはありませんから、心配しないでください」と言われていた。一方で、清二くんは2年生の10月6日頃までは担任にいじめを訴えていたが、教師らが将来にわたってSらの暴力を根絶する有効な措置をとらず、かえって酷い暴行を受けたため、その後は教師から尋ねられても、事実を話さなくなった。3年生になって、他校から転任してきた担任教師に4、5月は打ち明けていたが、話さなくなり、Sとのことについて聞かれても黙っていた。さらには、否定するようになっていた。</p> <p>10/11 生徒7人(中3)を補導。内2人をぐ犯少年として福島家裁いわき支部に送致。</p> <p>1990/12/26 福島地裁いわき支部、「いじめと自殺は因果関係があり、いじめ対策を怠った学校に過失がある」とし、市に1109万円の支払いを命じる。初めて学校の管理責任が認められる。</p>	
46	1985/10/14	<p>群馬県富士見村の村立富士見中学校の樺沢崇くん(中2・14)が「うらんでいる」と遺書を残し、農薬自殺(10/22死亡)。</p> <p>同じバスケット部に所属する同級生らから暴行されるなどいじめられていた。女子生徒からも「バイキン」などと言われていた。崇くんは一度「退部したい」と顧問に申し出たが、部員たちが説得し、本人も納得していた。崇くんと顧問が話し合ったあと、体育館裏でバスケット部の同級生たちが「へたくそ」「なぜ練習に遅れるんだ」と言って、暴行を加えた。</p> <p>10/24 父親が全生徒と職員の前で話をした際、「学校をよくするには何をしたらいいか、みんなの心の中にあることを手紙で教えてほしい」と涙ながらに訴えたことを受けて、生徒と教師約800人のうち半数近くが、崇くんの自殺や学校でのいじめ問題について書いた手紙を遺族に手渡した。</p>	
47	1985/10/26	<p>長崎県長崎市の市立大浦中学校の藤田孝征くん(中3・14)が、自宅風呂場で首吊り自殺。</p> <p>「ありがとう ほとんど、だれも恨んでいないが」と書いた遺書を残していた。</p> <p>孝征くんはかつて仲のよかったグループと疎遠になり、嫌がらせをされるようになっていた。新しい友だちができるよう脅すなどして、孤立化させていた。孝征くんは、グループにいじめをやめるよう要求していたが、聞き入れられなかった。</p>	
48	1985/11/20	<p>東京都大田区立羽田中学校の亀田千春さん(中2・13)が、自宅ベランダから投身自殺。</p> <p>「私は、もう生きてゆけません。なぜならば、Aさんが私をこきつかい、友達まで、せいげんしてしまったのです。もう学校に行くのがつらいのです。しゃていしゃていといわれともつらくかなしかったのです。」「B子さんは、私の性格がわるいのでむかつくといわれました。十一月二十一日の放かごタイムンをはれといわれました。そして先生や三年のせんぱいにちくつたら、ただではすまないといわれました。私のほかにもしゃていの人がいっぱいいます。A子さんやB子さんたちがぜんぶしたことです。」「〇〇〇美もB子さんのしゃていです。どうかすくってあげて下さい。きいてもゆわかないかもしれないけど、むかつく人をなぐったりして</p>	

		います。」などと大学ノートに書いていた。 1986/1/10 警視庁少年1課の「いじめ特別補導班」と鎌田署は、千春さんの遺書を元に、名指しされていたA子、B子らから事情聴取。A子を含む2年生13人を補導(女子11人、男子2人)。使い走り役だった5人の生徒に注意処分。6人の生徒を、千春さん以外の生徒を殴ったり蹴ったりしていた疑いで、書類送検。2人を品川児童相談所に書類通告。ただし、千春さんの自殺に結びつく立件はできなかった。	
49	1985/11/20	大阪府寝屋川市の女子高校生(高3)が、いじめでうつになり、焼身自殺。	
50	1985/12/4	栃木県足利市で、市立第二中学校の男子生徒がマンションの踊り場から飛び降り自殺。 同校では12/1に模擬試験、12/2-4は期末試験だった。男子生徒は進学希望だったが、成績があがらず、志望高校を変えていた。男子生徒は遅刻がめだつことから、クラスと同じ生活班の生徒らに注意されたり、小突かれたりして、家族に悩みを相談していた。	
51	1985/12/7	青森県青森市の市立中学校の男子生徒(中1)が自宅居間で首吊り自殺。 日頃、同級生から「動きがにぶい」と馬鹿にされ、授業中に物を投げられるなどの嫌がらせを受けていた。	
52	1985/12/9	青森県野辺地町の町立中学校の熊沢憲くん(中2・14)がいじめグループからの金銭要求や暴力を苦しんで農作業小屋で首吊り自殺。 「これから青春したかったのに」という遺書が遺されていた。 憲くんは、亡くなる3日前、「卒業生から呼びだされているので早退したい」と学年主任に申し出て早退。その日のうちに、同じいじめられていた同級生と一緒に警察に駆け込んで、「校内のつっぱりグループから金を持ってこいといわれ、嫌がらせを受けている」と相談していた。しかし、学校も警察も何の手だても打たなかった。 12/23 いじめていた生徒6人を書類送検。	
53	1985/12/13	千葉県富津市で、市立中学校の牧野勝司くん(中3)が自宅近くの雑木林で首吊り自殺。 遺体の側にあったノートには「電話」という字がいっぱい書いてあった。 夏休み以降3日に1度の割合で同学年の生徒から自宅に「〇〇のばか」などのいたずら電話がかかっていた。勝司くんはそのたびにふさぎ込んでいた。 10/ 両手の甲に、たばこの火を押し付けたような火膨れがあった。親がどうしたのか尋ねたが答えなかった。 11/下旬、勝司くんは「もう、電話はいやだ」と言って、家の中の電話線を切ったことがあった。 警察は「いじめが要因ではなく、高校受験などを悩んで自殺」と断定。	
54	1986/1/8	埼玉県朝霞市で市立中学校の女生徒(中2)が自宅風呂場でガス自殺。 1985/9/30 「頭痛い」と休んだ際、「男子生徒2人に学校で乱暴された。学校へはもう行きたくない」と話していた。	
55	1986/1/21	岩手県水沢市で、高校の男子生徒(高1)が「しぐなんてばかかもしれないけれど、おれはもうたえられない」と遺書を残して、自殺。 学生寮で、「態度が大きい」「掃除当番をさぼる」等と言われ、同級生7人から暴行を受けていた。	
56	1986/1/27	兵庫県でいじめを苦しんで、のろってやると女子中学生自殺。	

57	1986/1/29	佐賀県伊万里市の小学生男児(小6)が、いじめ自殺。 正月にもらったお年玉1万7千円のうち1万円の使い道を尋ねられ叱られて、農薬を飲み自殺。	
58	1986/2/1	東京都中野区の区立富士見中学校の鹿川裕史くん(中2・13)が、いじめを苦しんで自殺。 「俺だってまだ死にたくない。だけどこのままじゃ『生きジゴク』になっちゃうよ」と遺書が残されていた。 担任教師を含む「葬式ごっこ」等が明らかになる。教頭は裕史くんが殴られていたのを目撃しながら、翌日からの欠席を「サボりかな」と思っていた。家出の前日、裕史くんは教師にグループの暴力を訴えたが、いじめ対策面談の席で担任と教頭から「転校か、警察に訴えるしか、ほかに解決策はない」と言われ、「この学校にいてもダメだ。他の中学校に転校したら」と勧められた。(転校先候補として名をあげられた学校は、かつて裕史くんがグループの命令で使いに行かされ、ひどく殴られた学校だった) 1991/3/27 東京地裁で、一部認容(実質敗訴) 1994/5/20 東京高裁で、勝訴。都、中野区、同級生2人に1150万円支払い命令。	
59	1986/2/3	香川県志度町の町立志度東中学校の木内史(つかさ)くん(中2・14)が自宅物置で首吊り自殺。 史くんは軟式テニス部員だったが、必須クラブは囲碁・将棋クラブに属していた。日頃、囲碁・将棋クラブの上級生2人から「あいさつする声が小さい」「あいさつの態度が悪い」と言われて、殴られたり、蹴られたりしていた。 自転車の前かごに入れていた通学用ヘルメット内側の発砲樹脂の一部がはぎ取られていたこともあった。	
60	1986/2/12	長野県長野市で、高校の男子生徒(高2・17)が、クラスでシカトされるなどのいじめを苦しんで感電自殺。	
61	1986/2/22	大阪府大阪市西成区で、市立橋小学校の田村勤也くん(小6・12)がマンション8階から飛び降り自殺。カバンに「毎日いやなことばかりだった。このしゅだんしかなかった」と書いたノートがあった。 同級生グループのリーダーらに金を要求されたり万引きを強要されたり、暴行されたりしていた。同級生が、勤也くんともう一人いじめを受けている生徒(Kくん)に対するいじめを教師との交換日記に書いていた。別の同級生も、「このままではK君が死ぬ」と書き、勤也くんが自殺した当日には、「先生、K君もなるかもしれんからちゅういして」と書いていた。 1990/8/29 大阪地裁で、「いじめでは被害者が登校をいやがるなど、いくつかサインがあるが、それがなかった」として、原告の訴えを棄却。	
62	1986/2/22	三重県尾鷲市で尾鷲市立中学校の佐野公保(きみほ)さん(中1・13)が自宅で首吊り自殺。2/23 死亡。 公保さんは、1学期末頃からクラスのボス的存在の女子生徒を中心とする女子生徒のグループにいじめられ、2学期には60日の欠席となり、長期間登校拒否状態だった。2週間前にも、球技大会の市営グラウンドで、約10人の女子生徒に囲まれ、棒で殴られ、服を脱がされかけた。 自殺当日、公保さんは登校時間が近づくと「気分が悪い」と訴えたが、進級問題などもあって、母親から登校するように厳しく言われた。公保さんは「もう学校行け	

		へん」と突っ伏していた。 担任教諭は学級通信でクラスでのいたわりを再三呼びかけたり、公保さん宅に家庭訪問を繰り返したりしていた。公保さんに、登校拒否のカウンセリングを勧めていた。	
63	1986/3/6	三重県鈴鹿市で、市立中学校の酒井幸二くん(中2・14)が、橋の欄干にロープをかけて首吊り自殺。 自宅の机に「くわしいことは先生に聞いて」と書かれたメモがあった。 クラスでたびたびいじめられており、この日も同級生に寸劇用刀で殴られ、泣きながら帰宅した直後に首を吊った。	
64	1986/4/11	東京都江戸川区で、無職・長女(19)と三女(中1)が都営アパートの11階から飛び降り自殺。 三女が友人にあてた手紙にいやがらせを苦しめたとみられる内容があった。調査しても具体的な事実は見つからなかった。	
65	1986/4/18	茨城県稲敷郡阿見町の町立阿見中学校の高橋建二くん(中3・15)が自宅庭先で灯油をかぶり焼身自殺。 「もう生きて行く自信をなくした」「もっと青春したかったのに」などと書いた遺書が玄関先にあった。 同学年生徒が同生徒の家に集まった際、タバコを吸うことやジュースを買うことを強要。また、「明日オレの教室に來い」と命令されたことが自殺の引き金になったらしい。	
66	1986/6/17	鹿児島県財部町で、男児(小6)が自宅裏のブロック壁の穴にひもをかけて首吊り自殺。 同級生の名前をあげて「〇〇のバカヤロー」と書いたメモが見つかる。	
67	1986/6/28	埼玉県坂戸市で、市立中学校の女子生徒(中3)が11階建てマンションの屋上から飛び降り自殺。 ノートに「私は正しいことをした。ちくつていない。本当のことを言ったのだ」と書いていた。	
68	1986/7/8	北海道札幌市で、中学校の女子生徒(中2)が団地10階から飛び降り自殺。 「みんなから白い目で見られ、生きていくには少しつらすぎる」と書き残していた。 女子生徒は2年のクラス替えからいじめを受けるようになっていた。自殺した前日と当日に、6、7人から暴行され、遺体には暴行の跡が残っていた。 教頭は、「級友関係のトラブルで言い争いがあったことは確かだが、いじめや暴行はなかった」としている。 女子生徒の保護者は、「担任教諭から何度も生徒の前で注意されたことも、いじめ、自殺の要因と思われるが、学校側は責任を回避するような話ばかりで、事実を説明してくれなかった」と主張。 札幌法務局人権擁護部は、遺族の申し立てに対して、「申し立てだけではいじめの実態がはっきりしない」として、具体的事実の再提示を求め、人権相談としての受理は留保。	
69	1986/8/25	岩手県大迫町で、県立高校の男子学生(高2・17)が自殺。 便箋4枚の遺書に「まだまだやりたいことがあった。もっともっと生きたかった。でも、もうそれもできない。家ではめいっぱい明るくふるまってきたが、もう疲れた。一年の夏休み明けから相手にされなくなってきた。二年になってからは、ねもはもないことを言われ、殴られたりした。そして、バイクのナンバーを曲げられたりした」などと、便箋4枚に書いていた。	

		学校はいじめがあったかどうかはわからないと言う。	
70	1986/11/13	高知県の中学生、同級生に殴られ、校内で劇薬を飲んで自殺。	
71	1986/12/15	東京都江戸川で区立松江第四中学校の田島友加さん(中3・14)がマンション10階から飛び降り自殺。12/22 死亡。 「死の真相」と題をつけられた遺書に、「一五日放課後、三人に呼びだされ、殴るけるのリンチに似たものをされた。つっぱって暴走族に入れといわれた。最後にトイレで土下座までさせられた。明日から八〇センチ丈のスカートと、ベストをきかないで学校にこいといわれた。私はつっぱりたくない。一生をダメにしたくない。それなら死んだ方がどのくらい私のためになるかと思った。」と書かれていた。 別の1枚に、「お父さん、お母さん、本当にごめんなさい。最後まで普通の子としてやっていきたいから、絶対つっぱりたくありません。」と書かれていた。 校長は、「田島さんが書いたものを残したと聞いているが、私は見ていない。3人の女生徒も無防備なものを寄ってたかって乱暴したわけではなく、最後は『友だちになろう』と言って別れたと聞いている。それが、なぜ自殺に結びついたのかわからない。」と話した。 小松川署は「いじめではなかった」としながら、女子生徒3人(中3)を暴行の容疑で書類送検。	
72	1987/3/2	栃木県栃木市の中学校の男子生徒(中2)が自殺。いじめか？	
73	1987/4/23	長野県長野市篠ノ井の市立篠ノ井西中学校の上原タ子さん(中2・13)が、自宅の2階で首吊り自殺。 タ子さんは生活ノートに「学校でいじめられる」「辛い」と担任にたびたび訴えていた。その後の日付の生活ノートは、教師への通信欄が白紙になっていた。タ子さんの親しいクラスメート数人も、生活ノートに「タ子さんがいじめられている」と書いていた。いじめに悩むタ子さんに相談された男性教師は、クラス全員に彼女の何がいやなのかをテーマに作文を書かせ、その約半分を本人に手渡していた。 1987/8/10 長野市は「教育的配慮が足りない面があった」として、遺族に700万円を支払うことを決定。	
74	1987/6/11	栃木県佐野市で、市立中学校の男子生徒(中2)が4階建て校舎の屋上から投身自殺。 学校の机の中に「もう友だちのいうとおりになるのはいやだった。死にたい」という内容の遺書があった。	
75	1987/6/17	北海道札幌市で、市立西陵中学校の三好幸敏くん(中3・14)がマンション5階の非常階段付近から飛び降り自殺。 自宅から、「ぼくはときたまいじめられるし、学校に行くのがはずかしいから死に行きます。人間生活なんかもういやだ」などと書いた遺書が見つかった。 幸敏くんは3人きょうだいの末子。母親は別居中で、姉が一家の面倒をみていた。父親は、幸敏くんがいじめられているらしいことは知っていた。 校長は幸敏くんについて、「親しい友達はおらず、精神的にもろい面があったが。性格は明るく級友にはむしろ好かれていた。いじめは考えられない」とコメント。	
76	1988/1/10	茨城県東茨城郡の県立高校の男子生徒(高2)が、お婆の家の物置で首を吊って自殺。 遺書に、昨年秋以来、上級生からバイク購入代金の名目で5万円の支払いを迫られ、「これ以上いきっていくことができなくなった」と書かれていた。 警察は、恐喝の疑いもあるとみて友人ら十数人に事情聴取をしたが、脅かされたりいじめられたりしていたという事実は出てこなかったため、1年留年しているな	

		ど進級問題に悩み前途を悲観したとの見解。	
77	1988/3/8	東京都板橋区の区立中学校の女子生徒(中2)が「もうぜったいに学校へは行きたくない」と言い残して自殺。 いじめを示唆する書き置きを発見。	
78	1988/4/11	大阪府枚方市定時制高校生が、いじめが原因で対人恐怖症になって通院していたが、入学直後に自殺。	
79	1988/5/20	新潟県新潟市南魚沼郡の中学校の女子生徒(13)が校舎3階のベランダから飛び降り自殺。 同級生の女子生徒3人に「秘密を男子にもらしただろう。謝れ」と2度にわたりいじめられたうえ、教室のベランダに連れだし、「ここから飛び降りれば許してやる」と言われ飛び降りた。 1989/12/27 女子生徒3人を自殺関与罪で県警に告発。	
80	1988/7/9	北海道中標津町で、道立高校の男子生徒(高1)が自宅2階で首を吊って自殺。遺書には学校生活に受け込めない苦しさが書かれていた。また、自殺する4日前に「学校が恐怖となった」と書き置きし家出をしたが、両親に見つかり保護されていた。	
81	1988/9/5	栃木県喜連川町の私立高校の男子生徒(高2)が自宅離れの屋外階段で首吊り自殺。 遺書はなかったが、9/11に「先輩の不良グループから今日中に10万円を持ってくるように脅されている」と母親にうち明けていた。	
82	1988/10/	岐阜県多治見市の中学校で、男子生徒(16)が、中学1年のとき、いじめが原因で登校拒否をした末、出席日数が足りずに卒業できなかったことでひどく落ち込み、ガス自殺。 1年生の2学期の三者懇談会で、担任が母親に「お金を取られているようだ」と話したが、それ以上の対応はなかった。1年生の3学期から登校拒否になり、1年後、Aくんはいじめグループに金を取られていたことや、いじめられていたことを話はじめた。 学校は荒れており、突っ張りグループが下級生から恐喝をするなどのいじめを学校側は把握していたが、それ以上の対応はなかった。登校拒否の生徒はAくん以外にも数人いた。1年生時の担任は、家庭訪問し、Aくんを学校に戻そうとしていた。2年生時の担任は、1度訪問してAくんに会えないと、それっきり訪問しなかった。養護や音楽の教師らが家庭訪問して勉強を指導。3年生時、教師の退職、転勤もあって、訪問が途絶えた。Aくんは「僕は見放されとる」と落ち込んでいた。学校側はAくんの登校拒否をいじめが原因とは思っていなかった。校長は訪問指導を出席には換算せず、卒業を認めなかった。校長は通夜の席で、母親にAくんが死亡した日付けの卒業証書を手渡し、「前の年に卒業したことにおきます」と話した。	
83	1988/10/6	鹿児島県宇検村で、女子児童(小5)が自宅縁側で首を吊って自殺。 学校はいじめを否定するが、背後に村八分に関わるいじめがあり、両親の話では、朝は「いじめられるので先生が来るところに行く」と毎日遅刻していたという。両親は「いじめの実態を公表し、調査せよ」と校長に抗議。	
84	1988/11/8	福島県福島市で、市立中学校の女子生徒(中2)が自宅近くの踏切で飛び込み自殺。 “回しノート”と呼ばれる交換日記のことで同級生らと気まずくなり、仲直りできないことを悩んでいた。	

85	1988/11/22	広島県竹原市で、男子生徒(中3)が送電線の鉄塔途中から飛び降り自殺。 「友人に顔のことで悪口を言われる」など書いた遺書がポケットにあった。
86	1988/12/	愛知県西尾市の市立東部中学校で、男子生徒(中2)が自宅物置で首吊り自殺。 校長は「いじめのうわさがあり、十分に調べたが真相はわからなかった」と説明。
87	1988/12/21	富山県富山市の市立中学校の岩脇寛子さん(中1・13)が、ビル4階のベランダから飛び降り自殺。 「クラス中からさげられ、悪口を言われた。もう生きていく自信がない」と書いた遺書といじめを受けたと見られる複数の女子学生の名前を書いたメモが見つかった。 寛子さんは怪我で体育の授業見学中に、教師といっしょに草むしりをしながら、「先生、私の体って臭い？」と聞き、クラスのみんなから臭いと言われていると告白した。(寛子さんの死後、初めて両親は聞かされた) 後に「事故報告書」で生前、寛子さんが何度も担任の男性教師に、証拠の品を持って、いじめられていることを訴えていたことが判明。しかし、根本的な対応はとられず、いじめは沈静化しなかった。担任はこのことを寛子さんの保護者に連絡せず、事件の後も語られることはなかった。また、いじめがはっきりしていたのに、職員会議で議題として話し合われた形跡もない。 2001/9/5 富山地裁で、遺族の訴えを棄却。 2003/12/17 名古屋高裁金沢支部で、控訴棄却。 2004/6/10 最高裁で、棄却。
88	1989/4/10	兵庫県神戸市で市立有馬中学校の前原幸正くん(中3)が自宅で首を吊り自殺。 成績を苦しめての自殺とみられていたが、市教委の調査で、同生徒がクラブ活動を休んだことで殴るけるの暴行を受けていたことが判明。学校側はこれを市教委に「けんか」と報告していた。
89	1989/5/2	長野県長野市の裾花中学校の女子生徒(中3)が、昼休みにJR特急に飛び込み自殺。 市教委は「孤立感の背景のひとつにいじめもあった」といじめを遠因とする。 遺族は「娘の自殺の事実関係を何度も学校に尋ねてきたが、もう繰り返しませんというばかりで肝心な説明がない」と、学校と市教委に公開質問状を送付。
90	1989/10/2	岡山県浅口郡鴨方町の町立鴨方中学校の北村英士くん(中3・15)が、学校内で首吊り自殺。 同級生グループから暴行や金銭の強要を受けていた。部屋から「ふくろだたきにあいそうだ」などのメモが見つかる。 英士くんは金の催促を断ったことから殴る蹴るなどの暴行を受け、担任に相談。翌日、報復的な暴力を加えられた。学校は、暴力事件を加害生徒の親には連絡をしなかった。教師らは、登校をしづる被害者生徒に登校を促していた。(翌朝、校内で自殺) 1990/3/ 暴行容疑で書類送検されていた同級生2人を岡山家裁は審判不開始決定。 1994/11/29 岡山地裁倉敷支部で、いじめを否定して、遺族の訴えを棄却。 父親は法廷で、「遺体を見たとき、顔に殴られたような跡があった。息子は新しい制服に着替えさせられ、ゆがんだ眼鏡や泥だらけのシャツ、ズボンなどの遺留品は、晩になってから受け取った。不思議なことが多く、だれかに殺されたように思

		う」と証言。	
91	1989/11/9	千葉県富津市で、男子生徒(中1)が自宅で首を吊って自殺。 「今の生活にはもう耐えられない」とノートに鉛筆で書いていた。 他の生徒の父親や生徒からは、「(剣道部とともに練習を行っている)格技部の2年生に、日頃から殴る蹴るの暴行を受けていた」「使い走りをさせられていたが、持ち合わせのお金がなく、放課後に『お金を貸して』と頼んでいるのを何度も見かけた」「汚い水を飲まないうちは家に返さないと言われ泣いていた」などの目撃証言があがっている。 遺体には何力所もアザがあったが、学校側は「剣道部の練習によるもの」と強調。	
92	1989/12/15	福岡県福岡市東区で中学校の光安真由美さん(中3・14)が踏切に飛び込み自殺。 真由美さんの遺体には、殴られたとみられる多数のあざが見つかった。 遺書に同級生数人の名前をあげて「学校で殴られたり、いじめられた 体が痛い」「死にたい」「22日までに十万円を用意しろといわれた」「おじいさんの財布から1万3千円を抜き取りました。ご免なさい」など書いてあった。 加害者として遺書に名前のあった女子生徒は、A子さんと仲の良い友だちで、運動会や修学旅行で一緒に写真を撮ったり、コンサートに一緒に行ったりしていた。 学校側は、「信じられない」「全く気づかなかった」と言う。担任の男性教師(32)は、「自殺には全く心当たりがない」とし、「数日前に声をかけたときもにっこり笑って、何かに悩んでいる様子はなかった」と話した。 同校では一部の生徒たちが髪を金色に染め、毎日のように大幅に遅刻。教師の生徒指導はうまくいっていなかった。3年生の数人の生徒が他の生徒から金品を恐喝することも珍しくはなかった。 1990/2/4 同級生5人を書類送検。	
93	1990/4/16	埼玉県の市立中学校の吉野直子さん(中2・13)が、未明に自室の窓から投身自殺。 直子さんは小学校からの親友を中心としたグループにいじめられていた。 直子さんの死後、自室のゴミ袋の中に、ノートを1枚破り取って「〇〇〇〇(A子の姓をひらがなで)いじめ」と大きく書いてあったが、その時は、何のことか分からなかったもので、捨ててしまった。 7/22 同級生からの情報で初めて、死の数日前に「ブル(直子さんのあだ名)のバカ死ね」と校門の近くや通学路に落書きされていたこと知る。(死の直後、母親の友人からいじめの噂があることは聞いていたが、その時はまさかと、信じられないでいた) 直子さんは生前、1年生の時の担任とうまくいかず、2年生も同じ担任なのをひどく嫌がっていた。2年生の1学期の計画ノートには、担任への不満、意味不明な文が書いてあった。最後の15日は、「二年生が始まったばかりで、なかなかクラ」で終わっていた。当初、遺族は担任が原因ではと考えていた。 両親が、直子さんの死後、A子を中心とした数人の「いじめ」があったことを何度も訴えたが、取りあげてもらえず、調査もなされなかった。 事故報告書には、「事故の原因は不明である」と書かれていた。一方で、原因調査の形跡もなかった。	
94	1990/11/28	北海道苫小牧市で中学校の女子生徒(中3)が飛び降り自殺。 自宅に「自分がいやになった。遠いところに行きたい」と書かれた便せんと、いじめにあったとき書かれたと思われる数編の詩があった。	

95	1991/6/9	東京都足立区の都立高校の男子生徒(高1・15)が、中学時代の同窓生ら7、8人からの恐喝を苦に団地から飛び降り自殺。	
96	1991/9/1	<p>東京都町田市立つくしの中学校の前田晶子さん(中2・13)が、自宅最寄り駅の線路で鉄道自殺。</p> <p>お通夜のあった後、会館横の公園に子どもたちが2、30人集まって、「てめえがやったんだろう」「おまえが悪いんだ」「私だけじゃない」と子どもたち同士がケンカしているのを焼香帰りの多くの母親が目撃。その後、いじめを見ていた子どもを20人くらいが取り囲んで、「てめえ、チクるなよ」と脅していたという。通夜の席で、晶子さんがいじめた生徒あてに書いた手紙のようなものがあり、いじめた子どもたちが学校で遺書を読んだあと破り捨てたという噂が持ち上がる。教師数十人が学校にとって返し学校中のゴミ箱を探し回ったという話を、遺族は2～3日後、近隣の人や生徒たちから聞く。</p> <p>葬式の次の日、晶子さんと仲がよかった(と思っていた)少女ら3人に、晶子さんの学校での様子を聞きたいと自宅へ来てもらったところ、いじめを告白。後に教師が付き添って前言を撤回する。遺書がない為、いじめと認められない。</p> <p>両親が、事実を知りたいとして、事件後に学校が生徒たちに書かせた作文の開示を求めて提訴。また、「学校の調査報告義務を問う裁判」の訴訟を起こす。</p> <p>1997/5/6 作文非開示取消訴訟で、東京地裁は棄却。</p> <p>1999/8/12 東京高裁で、棄却。</p> <p>1999/11/12 学校の調査報告義務を問う裁判 東京地裁で、和解。</p>	
97	1991/11/17	<p>東京都江東区の区立中学校の男子生徒(中1)が、登校拒否後に自殺。</p> <p>男子生徒は中国から祖母の国、日本に帰ってきて5年目。国籍取得を目前にしていた。</p> <p>11/11 中学の柔道対抗試合で3位に入賞して、朝会で表彰を受けた。</p> <p>11/12 両親に理由も告げず、学校を休むようになった。1歳違いの弟には「オレ、もう学校に行かないんだ」と話していた。</p> <p>同校では上級生が下級生に命じて、トイレやドアを締め切った教室内で、数人で1人を殴るなどの「トイレ詰め」と呼ばれるいじめが以前からあった。複数の生徒がたびたび被害にあい、Aくんも上級生から「あいさつをしなかった」などと呼ばだされ、上級生に命令された数人に殴られるなどしていた。</p> <p>校長は「校内でいじめがあるとは考えられない。学年で一番体が大きく、とてもまじめな子だったのに」と話した。</p>	
98	1992/6/24	<p>島根県益田市の市立東陽中学校で、岡崎一(はじめ)くん(中3・14)が夕方、自宅近くの雑木林で首吊り自殺。</p> <p>一くんは、入学当時から同級生数名から集団的に暴力を受ける、無視、自転車をこわす、けんかをさせる、使い走りをさせるなどのいじめを受けていた。いじめのために転校を申し出ると、校長をはじめ学校側はいじめをやめさせるよう責任を持って努力するから思いとどまるようにと説得。しかし、その後もいじめは陰湿化し、続いていた。</p> <p>6/12 下級生が学校近くのスーパーで万引き。担任教師らは、一くんが万引きを強要したのではないかと疑い、放送室などで3日間にわたって厳しく調べられた。</p> <p>1994/12/8 学校側が、一くんが自殺したことは遺憾であると表明することで和解。遺族側は金銭の要求等はすべて放棄。</p>	

99	1992/7/10	<p>大阪府箕面市の市立中学校の男子生徒(中2・13)が、自宅のあるマンション9階の踊り場から飛び降り自殺。</p> <p>同生徒はこの日、2時限目の授業中、同級生にからかわれたと相手の首筋を1、2回たたいたことから、休み時間に担任が注意。放課後、副担任も約20分間にわたって注意していた。</p>
100	1992/9/16	<p>北海道恵庭市立小学校の大久保健二くん(小6・11)が、自宅近くの雑木林で首吊り自殺。</p> <p>「でもぼくは、みんなにきらわれている。『ちょっともっとむこうにいったらよ』『こっからこっち』『じゃまじゃまどっかいて』など、みんなにわるくちをいわれて、このはんとし、いじめられた。ちょっと、むこうにいったらよ」などとノートの切れ端に書いていた。</p> <p>担任は、友人とのけんかについて、「同級生らと鬼ごっこしてけんかになっただけが仲直りしたと聞いている。16日はふだんと変わりなかった」「この半年間、いじめの事実はなく、自殺の原因は学校にはありえない」と話した。また、健二くんの性格については、「授業中、おしゃべりをしたりして多少落ち着かない面はあったが、注意しても時間がたつとけろっとしているやんちゃな性格。いじめにあうタイプではない」と話した。校長も、「いじめの事実はない」と否定。</p>
101	1992/10/20	<p>福岡県北九州市小倉北区の中学校の女子生徒(中3・14)が、いじめを苦に、自宅マンションの屋上で首吊り自殺。</p> <p>遺書に「お父さん お母さん お兄ちゃん ごめんなさい。初めて学校をさぼってここにいます。私は学校で友達から無視されています。原因はよくわかりません。ただわかることは、私が悪いらしいのです。だから、あやまってみました。でもゆるしてくれはいないようです。なんだかわけがわからなくなってきました。そのうち学校に行くのもおもしろくなくなってきました。いまでは起きるのも気が重くなりました。そんな自分がとてもいやになりました。本当にごめんなさい。」など書かれていた。</p> <p>亡くなる10日ほど前にAさんは兄に、「のけ者扱いされている。いじめのグループに入っているように言われて、先生に叱られた」と話していた。</p>
102	1992/11/20	<p>北海道苫小牧市の市立中学校の男子生徒(中3・15)が、線路に飛び込み自殺。自殺した生徒を含む数人が、1991/5末から約半年間、同級生4、5人に繰り返し暴力を受けていた。</p>
103	1993/1/25	<p>愛媛県松山市で、男子生徒(中3・15)がJR線に飛び込み自殺。</p> <p>同級生の名前をあげて「いじめられるので死ぬ」と走り書きしたメモがポケットにあった。</p> <p>同生徒は1年生の頃からいじめにあい、田んぼに突き落とされて泥だらけになったり、学生カバンが刃物で傷つけられていたりしていた。1、3年の担任教師に訴えたがとりあってもらえなかった。学校側は「教育現場で犯人捜しはできない」と、いじめた生徒たちへの調査や指導をしなかった。</p> <p>校長は、最初は遺書の存在自体を否定。「担任の教諭に確認したが、いじめについて両親から相談された記憶がなく、いじめがあったことは全くつかんでいない」「Aくんがいじめで悩んでいたことに気づいた教員はいなかった。結果的に生徒の気持ちを見抜けず、教師として申し訳ない」と話した。</p> <p>マスコミで報道されて、ようやくメモの存在といじめの事実を認めるが、いじめが自殺の原因とは断定しない。</p> <p>松山生活指導サークルが、男子生徒へのいじめの実態調査を小冊子にまとめ、</p>

		愛媛県教委、松山市教委に提出し、「いじめが自殺の直接の原因」と認めるよう求めたが、両教委は認めない。	
104	1993/3/2	栃木県栃木市で、関口泰尚くん(中2・13)が、体操部室で首吊り自殺。 泰尚くんは体操部室で、体操部、テニス部、剣道部などの同級生10人と鬼ごっこをしたが、布袋をかぶって目隠しをされる鬼の役に指名され、突き飛ばされたり、叩かれたりして泣き出した。直後に体操部室でローラースケートの靴紐を首に巻き付け自殺。 ある同級生は、「関口くんは、ほとんど毎日、休み時間に数人の生徒から殴られていた。みんな知っていたけど誰も止めなかった」と話した。	
105	1993/5/6	秋田県鹿角市合川町の公立合川高校の寮生・大槻浩一くん(高1・15)が連休明けに鹿角市の自宅前で首吊り自殺。 休み時間に、もの真似や歌、踊りを強要され、目覚まし時計を使わずに目をさますよう言われるなどのいじめを受けていた。 1996/11/22 秋田地裁で全面棄却。原告控訴後、和解。	
106	1993/5/27	福岡県行橋市で、市立行橋中学校の松尾一樹くん(中2・13)が、自宅前の電柱にひもをかけて首吊り自殺。 右手首にタバコの火を押しつけたような火傷の跡があった。 5/29 学校が両親の要請を受け、全校生徒に作文を書かせた結果、数人の上級生や同級生、とくに所属していた運動部員が昨年からいじめを繰り返していたことが判明。具体的には、ボールをぶつける、殴るなどの暴力のほか、「金をもってこい」「カップラーメンを買ってこい」と言いつけられていたという。学校長が「いじめが自殺の大きな要因」と説明。 いじめは一樹くんが1年生のときからあった。3年生4人と、2年生1人がいじめを認める。同じ剣道部員もいた。	
107	1993/6/18	滋賀県伊香保郡高月町の町立高月中学校の吉内庄司くん(中3・14)が、自宅2階の物置で首を吊って自殺。 同級生の名前をあげて「いじめられるのがいやになったので」と書かれたノートがあった。 庄司くんは4月頃から「なまいきだ」と目をつけられ、校内でたびたび殴られていた。自殺の約1月前、教室でこの生徒に耳を殴られ通院したが、両親や教師には、「ボールが当たった」と説明していた。 町教委は当初、「生徒間トラブルでいじめではなかった」と県教委に報告していたが、報道で事件が明らかになると、町教委は学校を通じて、卒業生らに改めて当時の事情を聞いた結果、「新しい事実は確認されなかったが、暴行があったことや書き置き(遺書)によっても、『いじめ』と判断するのが妥当」とした。「いじめはあった」とする報告を提出。 1993/10/ 大津家裁で、庄司くんを殴ったりしていた同級生に「不処分」の審判。	
108	1993/7/7	京都府八幡市立男山中学校の武部誠くん(中2・13)がいじめ自殺。 「一ヶ月後に殺したる」という自筆のメモがあった。 生徒からは、使い走りをさせられたり、パンツ姿で廊下に立たされたり、「ボクシングごっこ」と称して殴られたりしていたとの声があがるが、学校は「いじめの事実はない」と否定。 7/12 自殺した誠くんを「A君が死に追いやった」と噂を流したとして、A君の両親に謝罪を迫られていた女子生徒(中2)が、「自分は言っていない」として、校舎2	

		階の職員室から飛び降り、重傷を負う。	
109	1993/7/8	<p>北海道苫小牧市の市立中学校の女子生徒(中1・13)が、いじめを苦にJR線に飛び込み自殺。</p> <p>姿が見えなくなる直前の4時限目の授業中、親しい同級生に「今、思っていることは死のうかなと思っているの。昼休みに行くの。議長もやらなくてもすむし、みんなに迷惑をかけなくてもすむ。私がいじめにあった時にも話してくれてありがとう」といった内容のメモを手渡していた。</p> <p>卒業した市内の小学校から、同生徒がいじめを受けていたとの引継連絡が中学校になされていた。中学校に入って、学級活動で「議長」を務めていたが、4月から6月中旬までの間、司会の仕方についていやがらせを受けたり、体形を冷やかされたりしていた。6/中旬、女子生徒は担任に「司会のことで困っている」と相談していた。</p> <p>同校では、1992年11月下旬にも、同級生に暴力を受けていた男子生徒(中3・15)が線路に飛び込み自殺をしている。</p>	
110	1993/11/20	<p>滋賀県愛知郡湖東町で、町立湖東中学校の西沢敏明くん(中2・14)が自宅で首吊り自殺。</p> <p>通夜の席に所属していたバスケット部から、「気持ちはいつも一緒だぜ」「天国でバスケ頑張てね」との言葉とともに、「最後に暴力をふるってゴメンナサイ」「ウォークマンのことゴメンなさい」「キーホルダーゴメンなさい」「今まで話すきかいが少なくてゴメン!」「もっといろいろ話したかった」「なやみをかいけつしてあげられなくてゴメン」などいじめを示唆する内容が寄せ書きしたボールが届けられる。</p> <p>校長は、いやがらせ、暴力の事実は認めたとうえで、「そういうことが直接、自殺に結びついたとは考えたくない。しかし思いあたる原因は浮かばないが」と言いながら、いじめと自殺の因果関係を否定。</p>	
111	1993/12/14	<p>福岡県太宰府市内で、男子生徒(中2)が自宅2階の父親の書斎で首吊り自殺。</p> <p>学校が書かせた作文で、「万引きを手伝わされて悩んでいた」「殴られたり、いじめられたりしていた」と何人かが書いていた。また、男子生徒の手帳やノートに、友達を書いたらしい悪口が書いてあった。</p>	
112	1994/5/29	<p>岡山県総社市で、総社東中学校の菅野明雄くん(中3・14)が、神社内の雑木林で首吊り自殺。</p> <p>「〇〇に金をもってこいといわれている」など鉛筆書きしたメモが4、5枚見つかり、家から持ち出したお金の使い道と生徒の名前が記してあった。</p> <p>修学旅行の直前に、明雄くんは同級生に「死にたい」と漏らしていた。修学旅行の代休日に自殺。</p> <p>明雄くんは、いじめていたグループと常に行動を共にしていたので、「同じグループ」と見られていた。</p> <p>メモに名前があった同級生5人を含めた関係者から事情聴取をした結果、4人がいじめを認める。「おとなしく、言いなりになって金を持ってきたから」と話す。遺書にあったほかに、新たに別の4人が判明。</p> <p>8人がいくつかのグループごとに別れて、集団的、常習的暴力を働いていたとみられる。いじめグループは複数あり、卒業生も加わっていた疑い。</p> <p>6/8 校長が「自殺の原因はいじめだった」と認める。</p> <p>1994/11/21 岡山家裁は、いじめと自殺の関係を認定し、7人を短期保護観察処分。1人を不処分。</p>	

113	1994/6/3	<p>愛知県安城市で、県立高校の男子生徒(高1・15)が自宅のあるマンション13階付近から飛び降り自殺。</p> <p>「金をたかられ、殴るなどの暴行を受けた」「中学時代の同級生仲間からいじめにあい、死にたい。毎日が地獄のようだ」と3人の実名を挙げてノートに書いていた。</p> <p>1995/3/29 名古屋家裁岡崎支部は、3人を恐喝罪により短期保護観察処分。3人が真面目に学校生活を送っていること、遺族との示談が成立していることを考慮。</p>
114	1994/7/5	<p>東京都江戸川区立小松川第三中学校の菅原光治くん(中3・14)が、自宅近くの都営住宅9階から飛び降り自殺。</p> <p>同級生を名指して、「いつもいつもいじめられて、もう学校に行きたくない。殴られたり、蹴られたりしている」などのメモがあった。</p> <p>一緒に登校していた男子生徒は、「旅行前に(光治くんが)『負けてお金を取られるからプロレスはしたくないんだ』と言っていた。</p> <p>6/29-7/1 修学旅行中、教室でのプロレス仲間7人と、旅館でプロレスごっこをした。ルールは、ジャンケンで負けたら技をかけられスリーカウントかギブアップで負けになる。事前に計画された「賭け」は中止になっていたが、1人だけ知らされていなかった光治くんは、Aに負けたあと、「いくらだっけ」と尋ねて500円を渡した。</p> <p>7/1 修学旅行中に返却したが、「利息」として1500円を要求された。</p> <p>7/5 自殺した夜の7時15分に貸しビデオ店で待ち合わせて、金を渡す約束だった。(飛び降りた場所とは別の方向)</p> <p>警察は、「組織的ないじめは確認できなかった」「一対一の金銭が絡んだトラブル」との見解を発表。</p> <p>区教委は、警察の見解を理由に「いじめが主因とは言えない」として、自殺の原因を「その他」に分類。</p>
115	1994/7/15	<p>神奈川県津久井町立中野中学校の平野洋くん(中2・14)が自室で首吊り自殺。</p> <p>4月に転校してきて以来、いじめられていた。</p> <p>5/ 末、母親が洋くんの部屋を掃除していて、英語のノートに落書き(私は占い師みんなが嫌ってるぞ、君は呪われている、死ね、など日記風の文章が、女の子が書いたと思われる丸文字で1ページ半にわたって書いてあった)がされているのを発見。担任に電話で連絡する。このことは本人に内緒にしてくれるよう頼んだが、担任からは「本人の持ち物を調べてみましたが、ほかに落書きのようなものはありませんでした」と報告があった。</p> <p>洋くんの死後、担任は洋くんが自殺するまで少なくとも15回のトラブルを知っていたが、校長に報告していなかったことが判明。</p> <p>自殺した当日の朝、洋くんの教科書や机に給食用のマーガリンが塗られ、いすにはチョコの粉がまかれ、画鋏が置かれていた。机の上には花びんの水がまかれていた。洋くんは知らずにイスに座った。洋くんはそれまで数々のいじめに自分なりに反撃してきたが、この日は反撃せず、教師に申し出ている。その日の夕方、自殺。</p> <p>2001/1/15 横浜地裁で元同級生らによる行為が自殺の原因と認定し、一部認容。</p> <p>2002/1/31 東京高裁で、一部認容(確定)。</p>

116	1994/8/26	福島県相馬市の男子生徒(高2・17)が、恐喝を苦に首吊り自殺。遺書に他校生のいじめをほのめかず。少年9人を恐喝容疑で送検。	
117	1994/9/5	岡山県倉敷市の市立味野中学校の男子生徒(中2・14)が同級生の実名といじめの事実を書いたとメモを残して自宅で首吊り自殺。	
118	1994/9/5	兵庫県明石市の市立中学校の女子生徒(中1・12)がマンションから飛び降り自殺。自宅から「死んでやる」と書いたメモが見つかったほか、クラブ活動のトラブルで悩んでいたという。	
119	1994/10/10	茨城県牛久市で、中学校の男子生徒(中2)が自殺。遺書はなかったが、鍵のかかった机の引き出しから、「Bさえいなければ」と書かれた紙片が出てきた。時々、けがをして帰宅。死ぬ前は朝食が食べられなくなっており、校内医に一度カウンセリングを受けるようにと勧められていた。男子生徒はクラスに親しい友人がいた形跡がなく、黒板に名前をあげて「死ね」と書かれたりすることがあった。学校は、Aくんの死を不慮の事故死として、いじめとの関連を否定。一方で生徒たちに、やたらなことをしゃべらないように口止め。	
120	1994/10/29	鹿児島県出水市立米ノ津中学校の船島洋一くん(中3・14)が自宅の庭の木で首吊り自殺。洋一くんは、担任教師にいじめられていると相談したが、いじめがあったかどうかをクラスでアンケートをとった結果、何も出てこなかったため、担任はみんなの前で洋一くんに謝らせていた。遺書がなく、学校側はいじめを認めず。遺族が人権擁護委員会に訴え、法務局が動くが、学校が情報を出さないためにわからない。「いじめ、認めず」と結論。遺書がないことから、校長は「怪我をさせた子はわからない、学校ではいっさい何もなかった」といじめを認めず、謝罪もなし。生前のアンケートも、洋一くんの死後3年生全員にとったアンケートも開示せず、何もなかったから処分したと発言。アンケートに、「洋一くんはいじめられていたと書いた」という女生徒の証言もあるが、学校側はいじめは一切なかったと断言。校長は生徒に、「本当のことを言えば船島くんのうちにとっても学校にも大変なことになる」と箱口令を敷く。	
121	1994/11/27	愛知県西尾市立東部中の大河内清輝くん(中2・13)が、いじめを苦に自宅の庭で首吊り自殺。川に落とされる、殴られる、100万円を脅しとられるなど、いじめの詳細を遺書と日記に書いていた。母親あてに約110万円の「借用書」が残されていた。自殺の翌日、学校は教育委員会に「突然死」と報告。校長は全校集会で生徒に、「軽はずみに人に話さないように」と箱口令をひいた。12/8 学校は担任やいじめていた生徒らに事情を聞き、「大河内君の自殺に至るまでの行動概要と背景」の一部を記者会見で公表。「清輝君は、問題を起こしやすい生徒たちのグループに加わっていた。しかし、一つひとつの行動が彼に対するいじめ行為であるという認識は持っていなかった。いじめの認識が甘かった。教師間の意志の疎通が悪く、このような事態を招いてしまった」として、自殺原因がいじめであることを初めて認めた。その後、遺族の知人から話がいき、教育委員長が学校にいじめの調査と遺族への報告を厳命。作文をはじめ、保健日誌、職員会の記録簿、担任教師の手帳等を見せてもらう。	

		1995/4/4 同級生3人を初等少年院(2人は長期、1人は短期)、1人を教護院(現・自立支援施設)に送致。	
122	1994/12/	鹿児島県鹿児島市で、中学校の女子生徒(中3)がいじめ自殺。 遺書はなかったが、クラスの同級生から「くさい」と言われたり、髪をひっぱられるなどしていた。	
123	1994/12/13	愛知県岡崎市で、市立福岡中学校の男子生徒(中1・13)が首吊り自殺。 階段から突き落とされたり、いすをぶつけられたり、プロレスごっこ、カバンに「死ね」と書かれるなどのいじめを受けていた。 12/14 校長は、一旦はいじめを認めたが、クラスの生徒から1時間にわたり話を聞いた結果、「Aくんは楽しくやっていた」「継続的に殴ったりけったりするなどのいじめはなかった」として、否定。 担任教師が教室で生徒1人ずつを教室前の自分の机に呼び、いじめがあったかななどを1時間にわたって聞き取り調査。ただし、いじめていたと名指しされていた男子生徒からは聞いていない。	
124	1994/12/14	福島県石川郡石川町の町立石川中学校の須藤宏隆くん(中3・15)が、自宅近くの雑木林で首吊り自殺。 同じクラスの生徒3人を名指して、「いじめられていました。三人をうらんでいます」などと書いた遺書を残していた。 学校側が、3人に「なぜ仲が悪くなったのか」と尋ねたところ、「須藤くんが殴ったり、けったりしたので仲が悪くなった」と答えたという。内1人は「僕たちはいじめていない。ボールをぶつけられたり、ほうきでぶたれたりしたのは、僕たちのほう」と反論。 12/14 朝、登校するバスのなかで、同級生にふだんと変わらない様子で「冬休み、一緒に勉強するっぺ」と話しかけ、「おれ、やり残したことないから、自殺でもすっかな」と言って、声をあげて笑っていた。 12/初め、学校が行った全校生徒対象のアンケートに宏隆くんがいじめを受けているという指摘が1件だけあったが、深刻な状況とは捉えていなかった。	
125	1995/1/17	愛知県知多郡阿久比町の小学校の竹内望(のぞみ)さん(小6・12)が、首吊り自殺。 「ごめんなさい。私は、もうこの人にたえきれません」「死ぬことは恐くはありません。自由になれるのだから」などと書いた遺書を残していた。 また、ゴミ箱には、「お願いっ、〇〇(愛称)ちゃんだけは私をムシしないで。一生のお願い」と書かれた友だちあての手紙が捨てられていた。 友だちとの交換日記に、2学期の終業式の直前、友だち数人と内緒で教えあった好きな男の子の名前を別の子に話したと疑われて、友だちとけんか。無視されるようになったことが書かれていた。 学校側は「調べることで、関係した子たちを責めるのは・・・」と調査に消極的。	
126	1995/1/27	島根県飯石郡の町立中学校の女子生徒(中3・15)が首吊り自殺。 机や上履きに画鋲を置かれたり、悪口を書いたメモを机に置かれ、「教室に入るのが怖い」と担任に相談していた。	
127	1995/2/5	静岡県浜松市立東部中学校の男子生徒(中2・14)が、遺書を残して、自宅近くのマンションから飛び降り自殺。 使い走りや万引きを命じられる、自転車をパンクさせられるなどのいじめを受けていた。プロレスごっこと称して、10人くらいで取り囲み、「5分勝負」「Aを強くしてやる」と腹を何度も殴られていた。Aくんも自分から「殴ってみろ」と言っていたが、	

		<p>仕返しはしなかった。Aくんは同級生らに髪の毛を茶色に染められていた。いじめていた生徒の家で、耳にピアスの穴を開けられていた。Aくんは友人数人に、「おれ、自殺しそうだよ」と笑いながら話していた。</p> <p>市教委は、「教職員からの話を総合すると、昨年10月に使い走りや教室移動の際に友人の荷物を持たされるなどの『いじめ的な現象』が目立たない形であった。だが、自殺と直接結びつくかどうかは言えない」と説明。</p> <p>教育長は「いじめと『いじめ的な現象』は分けて考える必要がある。軽度ないじめはあったが、金品の強要や恐喝など明らかないじめはなかった」「重大な死に至るいじめはなかった」「自殺の原因は多角的に調査し、慎重にやらねばならない」として、「原因不明」であることを強調。</p>	
128	1995/2/21	<p>茨城県東茨城郡美野里町の町立美野里中学校の高木一則くん(中2・14)が、自室で首つり自殺。</p> <p>「僕は、一年のときもいじめられました。それも二人にバカにされ、あげくのはてには物などもこわされたりしました。二年になったときは、一学期にいじめられてそのときもがまんしました。二学期にはひどくなり〇〇、××にバカにされ物を投げける、なぐるなどの暴行を受けました そのときはがまんならず 先生にいいました。それが間違いだったのです。〇〇がつれてきた不良4人に教科書を投げられ 先生に言った後の一人は、『チクリマン』と言われ その時は泣きそうでしたが、今では、クラスで 相談する友達もいません 部活でも仲がよかった友達も敵になりました。後輩にもバカにされがまんしました。しかし僕はがまんできません この世の中は、僕には合いません ごめんなさい。クラス、部活で助けてくれる人もいませんでした。」と遺書を残していた。</p> <p>両親は、学校側が「いじめはなかった」とマスコミに話したことに反発して、遺書を公開。</p> <p>県教育庁県教育庁指導課長は記者会見で、「遺書の内容を見る限り、本人にとってはいじめが原因であったと受け止めざるえない。学校も努力したが、発見や指導ができなかった」と話した。</p>	
129	1995/4/7	<p>愛媛県松山市で、中学校の女子生徒(中2・13)が始業式前日に、JR予讃線の特急に飛び込んで自殺。</p> <p>1994/10/から、同級生からのいじめで学校を休んでいた。</p>	
130	1995/4/16	<p>福岡県豊前(ぶぜん)市の角田(すだ)中学校の的場大輔くん(中2・13)が、バスケット部でいじめやリンチを受け、自宅で首吊り自殺。</p> <p>「これは自殺じゃない。他殺だ」と赤いフェルトペンで書かれたメモがあった。手書きの遺書やパソコンのフロッピーのなかにも、A4判用紙に10行ほどの遺書があった。</p> <p>暴力をふるった上級生5人と同級生4人の名前と、自殺の5日前から前日までプロレスごっこをされたほか、殴られたり因縁を付けられたりした様子が日付ごとに書かれていた。</p> <p>学校と教育委員会も、いじめが原因の自殺と認める。しかし学校は、遺書に書いてあったことは調べるが、それ以外は何もしない。「的場君に対する『いじめ』の原因と考察」を出し、「反省しています。指導しました」と調査報告書に書いているが、具体的なことは何もわからない。校長、前担任、クラブ顧問は訓告処分。</p> <p>1999/3 市側が市議会へ、学校でのいじめが原因で自殺したことに市は責任を認める、遺族に和解金を支払い、大輔くんの死を風化させないよう今後もいじめ問題に取り組むことを確約するという内容で和解。</p>	

		1999/1/ 主犯格のバスケット部の先輩側が「いじめ」と「自殺」の因果関係を認めて和解金を支払うことで和解。	
131	1995/4/27	<p>奈良県橿原市の市立橿原中学校の坂田健作くん(中2・13)が、昨年からのいじめを苦に自宅で首吊り自殺。</p> <p>同級生から殴られるなどして不登校の状態が続いていた。「お母さんは、ぼくのたちばやしんどさをしらない。」「こんなはなしをしてお母さんが悩んではげたらいやだ。」などと書いた日記が見つかる。</p> <p>担任は母親からもいじめの相談を受け、12月末の三者面談で相手に注意。反省文を書かせて、健作くんの自宅に持って行かせ、保護者と本人が健作くんに謝った。しかし、健作くんは同級生に「これからは、おれはおまえを殴りも蹴りもしない。だけど、一言もしゃべらない。お前もおれにしゃべりかけるな。かまうな。そしたらなにもしない」と言われていた。</p> <p>担任は、加害生徒に謝らせたことで、「解決した」と学校に報告。</p> <p>いじめが続き、親子で学校に相談したが、担任は「そんな事実はありません」「考えすぎです」と答えていた。</p> <p>学校側は「生徒やPTAから懸命に情報収集しているが、現状ではいじめの有無は確認できない」とし、同級生間のトラブルと自殺との直接の関係を否定。</p>	
132	1995/4/28	<p>長崎県長崎市梁川町の市立淵中学校で、大河内栄子さん(中2・13)が、いじめを苦に校舎3階から飛び降り自殺。</p> <p>現場に「日常茶飯事の言葉によるいじめより突発的に起こった形に出たいじめの方が、取り上げやすいの shouldn't ね。私は毎日毎日行動と言葉でいじめられているのに誰れも気付いてくれない。〇〇 〇〇 〇〇 (男子生徒3人の姓)、他のクラスも同じクラスも、男子全員、一年の男全員に、行動で「おまえは汚い」と言われ、傷つけられ続けてきた。これで終わりにする」と記したメモがあった。</p> <p>小学校4年生の時からいじめがあり、両親は担任に相談していた。教室で、十数人の男子生徒から「汚い」「くさい」と言われていた。</p> <p>1996/3/20 父親が男子生徒に復讐し書類送検。</p>	
133	1995/5/22	<p>大阪府寝屋川市の私立高等専修学校に通っていた白川信行くん(15)が、同級生の実名をあげて、「学校でいじめられている」「学校をやめたい」「いじめた相手を殺したい」と両親に訴え、不登校になっていた。この日は再登校するはずだったが首吊り自殺(3日後に死亡)。</p> <p>信行くんは難病の膠原病(こうげんびょう)の治療を受けながら通っていた。病気のせいで身長が低いことをからかわれていた。同級生数人に、髪をひっぱられるなどのいじめを受けていた。担任教師は、信行くんの病気について知っていたが、生徒たちには伝えていなかった。</p>	
134	1995/5/31	<p>鹿児島県鹿児島市立坂元中学校に転校2カ月で、いじめを苦に、池水大輔くん(中3・14)が、自宅のベランダで首吊り自殺。</p> <p>6/1 葬儀の日、担任が持参した同級生33人の手紙には、「いつも一人だった」「こうなったのは僕のせい」などと書かれていた一方で、「簡単に死んだ」だの「チャオ！ そっちはどう？」などと書かれていた。</p> <p>遺書はなく、事件直後に学校は2カ月前の暴行恐喝事件は認めるが、「この問題は太輔くんの家族に謝罪するなど、すでに解決済みです」として、いじめとの関係を否定。両親からの抗議によろやく、「いじめが自殺の原因に関係している」と認める。</p>	

		大輔くんを殴った男子生徒が、遺族宅を3回訪問。「学校は僕だけのせいにして、僕だけを悪者にしようとしている」「学校って汚い」「先生って汚い」と訴える。	
135	1995/7/3	鹿児島県熊毛郡中種子町の町立中学校の男子生徒(中1・13)が、「学校が嫌になった」「学校に行くと先輩からうるさく言われるので行きたくない。お父さん、お母さん、13年間お世話になりました」と遺書を残し、首吊り自殺。	
136	1995/7/10	東京都北区の私立駿台学園高校の秋葉祐一くん(高1・15)が自宅近くのマンションから飛び降り自殺。 英語のノートの隅に「おれは根性なしです。弱すぎる人間です。」などと書いていた。 祐一くんは父親に野球部をやめることを相談し、退部届けを書いてもらっていたが、部活で3年生が2年生を殴る暴力事件があり、仕返しが怖くて出せないでいた。学校側は「いじめは自殺のいろいろな原因のひとつ」とする。	
137	1995/7/19	福岡県前原市の中学校の女子生徒(中3・14)が、友人2人の名前をあげて、「絶対許せない。なんで私が死ななきゃならないの」と遺書を残し、飛び降り自殺。	
138	1995/8/27	神奈川県横浜市の私立明倫高校の女子生徒(高1)が、部活動の上級生数人の名前をあげて「先パイからのイジメみたいなのは、もーたえられないのよ」と、上級生3人の名前が記された遺書を残し、校内で首吊り自殺。 学校側は、「事件後、Aさんの所属していたテニス部員やクラス生徒、教員などから事情を聞いたが、結局、『いじめ』と結論づけることはできなかった。もともと、部の伝統的な体質というべき、先輩と後輩の間に厳しい上下関係があり、先輩からAさんへの行きすぎた指導があった。」「しごきや暴力行為などは一切ない。言葉の問題。ひとつは自殺の前日のミーティングで、Aさんの文通のことに話が及んだらしい。その文通相手はAさんの中学の先輩で、他校のテニス部員。その手紙の中でAさんがクラブでの不満を漏らしているのではないかと注意されたいらしい。」「もともとこれが自殺の直接の引き金になったとは判断できず、日常的な厳しい上下関係、上級生の指導が精神的な負担になっていたことが背景としてあった。」という内容の事故報告書を提出。	
139	1995/8/28	北海道上川支庁の道立鷹栖高校の男子生徒(高1・16)が、母親に同級生の名前をあげて暴行されたことを告げた後、自宅で首吊り自殺。 1996/6/ 両親が学校設置者である北海道と、同級生7人と両親らを相手取り、1000万円の損害賠償を求めて提訴。 旭川地裁で、遺族の請求を棄却。「いじめがあったとは言えず、担任教諭も事件を予見できたとは言えない」とした。	
140	1995/10/23	山形県酒田市の市立中学校の男子生徒(中1・13)が自宅の倉庫で首吊り自殺。当初は、学業不振を苦にした自殺と思われていたが、同じクラスの生徒1人が、髪の毛をむしられる、消しゴムを隠されていたなどのいじめを受けていたと証言。	
141	1995/11/27	新潟県上越市の市立春日中学校の伊藤準くん(中1・13)が、「生きているのがこわいです。あいつらは僕の人生そのものをうばっていきました」などと書き残して自殺。 1995年夏休み頃から、子どもたちが朝6時に伊藤家に来て、バスケットコートを使用するのを父親がとがめたことをきっかけに、いじめが始まる。 2学期以降は、授業時間、清掃時間、休憩時間、部活時間、準くんの自宅など、時間と場所を問わず、服を脱がしたり、水をかけるなどのいじめを執拗に繰り返して	

		<p>いた。10月下旬以降、これらのいじめに加えて、無視されたりした。同級生が、準くんがトイレで泣いているのを見て、教師に告げたこともあった。</p> <p>1955/1/27 上越南署と県警少年課が遺書でいじめたと指摘された5人の生徒や同級生らに事情聴取。警察は「意図的な度合いは少ない。遊び半分的な要素もあったのでは」との見方をし、「金をとられている」との記述にしても事実の確認できていないとした。</p> <p>同署幹部は、「感受性の強い子だっただけに、友人から無視されたことなどが主因に違いない」と話した。学校連絡帳の記載や友人の証言などから「夏以降、成績が下がったことも関係しているのではないか」との見方を強めた。非行事件としても、「無視だけでは立件できない」とした。</p> <p>1996/1/29 上越南警察署は本件を調査し、いじめの事実が確認されたこと並びにいじめが自殺の要因であったとの見解を発表。遺書に名前のあった5人のうち2人と、遺書に記載はないがいじめに関与した生徒の計3人を補導処分にした。(13歳以下は、犯罪としての事件処理はできない)</p> <p>2002/3/29 新潟地裁高田支部で、棄却。</p> <p>2003/6/23 東京高裁で、和解。</p>	
142	1995/12/6	<p>千葉県香取郡の町立神崎中学校の鈴木照美さん(中2・13)が、いじめを苦に自宅で首吊り自殺。</p> <p>遺書に男子生徒3名、女子生徒2名の名前があった。「口のいじめだった。でも私はがまんした。けど、どんどんひどくなっていく。こんなつらい思いをしてまで神崎中にいたくない」などと書いていた。</p> <p>直後には校長と教頭が霊前で土下座して謝罪するが、事件翌日には、「いじめはなかった」と校長が発表。</p> <p>照美さんは転校生で、転校から自殺まで1年経過していなかった。</p> <p>12/5 母親が学校に迎えにいくと照美さんは校門の前で泣きながら「またいじめられて、もう学校へは行きたくない」と母親に告げた。母親はこのことを担任教師に電話で相談した。</p> <p>12/6 朝、照美さんは「気分が悪いから学校を休む」と言い、母親が学校へ電話していた。生徒指導主任が訪問し、休んだ理由を聞いたところ、いじめの話も出て、対処法について3人で話し合った。教師が「髪はそんなに茶色じゃない。気にすることはない。いままで頑張ってきたのだから、少しぐらいのことにめげずに頑張ろうよ」「体調が悪くないなら学校へおいでよ」などと励ました。照美さんが、「午後には登校する」と話したため、主任は学校へ戻り、母親も外出した。その間に自殺。</p>	
143	1996/1/6	<p>福岡県で男子生徒(中1)がいじめを苦に自殺。</p>	
144	1996/1/8	<p>兵庫県神戸市神戸商業高校の女子生徒(高1・16)が、電車で飛び込み自殺。</p> <p>3人の名前をあげて「態度によるいじめです」と遺書を残していた。死後、本の中に3人にあてたB5判レポート用紙1枚のメモがあるのを、父親が発見。「3人へ かなり命令したよな。私はあんたの家来ちゃうねん。今では友だちとも思わへんわ」と書いていた。</p> <p>「ロデカ」「デコピカ」などのあだなをつけられ、宿題ノートに「くさーい」などと落書きされていた。</p> <p>学校は「友人の気持ちの行き違いが自殺の一因となったのでは」という報告書を県教委に提出。県教委も「いじめの事実はない」と結論。</p>	

145	1996/1/9	<p>埼玉県行田市立行田中学校の細井和孝くん(中2・14)が、殴るけるの暴行を受けたり、金を要求される、メモで「死ね」という言葉を浴びせられるなどのいじめを受け、自宅で首吊り自殺。</p> <p>和孝くんは母親に、明確には「いじめられている」とは話していなかったが、母親はいじめがあるのではないかと担任教師に数度相談。「心配ない」と言われていた。</p> <p>2000/12/25 浦和地熊谷支部で、自殺の原因となるいじめがあったとは認められないとして訴えを棄却。</p>	
146	1996/1/22	<p>福岡県三潁(みづま)郡城島町の町立城島中の大沢秀猛(ひでたけ)くん(中2・15)が、「要求されたけれど、お金がないので死にます」と遺書を残し、自殺。</p> <p>中学1年生の5月に実施された家庭訪問の際、秀猛くんは担任のT教師に、「いじめられている」と泣きながら訴えたが、T教師は「何人かの生徒と行き違いがあります。その中の一人の生徒が小学校の延長のようなガキ大将の子でした。秀猛くんにもそのようなところがあります。しばらくすると中学生の自覚ができ、仲良くやっていけるでしょう。」と母親に話した。</p> <p>T教師は、校内の相談室において、秀猛くんとBくんの2人を呼び出し、それぞれに対して説諭した。2人に聴取したT教師は、事件のたびにBくんの言い分を容れて、けんかにすぎないと軽く受け止め、叱っただけでいじめの事実を認めず、秀猛くんには、「口が悪い」と咎め、それをもって解決したと判断して、それ以上の事実を明らかにしなかった。以後、秀猛くんはT教師に対して相談しなくなった。(同教師は、秀猛くんを1年次、3年次担当)</p> <p>自殺直前、秀猛くんは、「先生に言っても、何も解決してくれんもん」と言っていた。お通夜の席で遺書を公開するが、校長は「いじめはぜんぜんありませんでした」と発表。遺族は、遺書に書かれているようないじめが本当にあったのか調査を学校に依頼したが、「調査は警察にまかせましょう」と言って応じなかった。後にいじめを認めるが、「自分はいじめを見なかった」と主張。校長も担任も一度も謝罪なし。</p> <p>1996/7 福岡家裁久留米支部は、同級生2人について、「2人が自殺直前の約3カ月間に大沢君から十数回にわたり現金計約30万円を脅し取っていた」「執拗にいじめ、恐喝した態様は悪質で、自殺という取り返すことのできない重大な結果を生じた」としながらも、「2人とも高校へ進学し、示談への話し合いも始まっている」として、保護観察処分にした。(DE2人の両親とは示談成立)。</p> <p>2001/12/18 福岡地裁一部認容。町と県に計1000万円の支払い命令。 2002/8/30 福岡高裁は、自殺の予見可能性について「自殺は本人の意思決定による部分が多い」と否定。両親側の控訴を棄却。 2004/11/30 最高裁第三小法廷で、両親の上告不受理を決定。</p>	
147	1996/1/25	<p>愛媛県八幡浜市の市立松柏(まつかや)中学校の女子生徒(中2・14)が、言葉や態度によるいじめを苦に、制服のスカーフで首吊り自殺。</p> <p>「学校に行くのが怖くなった。生きていくのに疲れた。死にたい」と走り書きがしてあった。</p> <p>八幡浜教育事務所の留守番電話に自殺をほのめかす女子生徒の声が録音されていた。</p> <p>小学校の高学年からいじめがはじまり、中学校になっても繰り返されていた。女</p>	

		<p>子生徒は2年生の1学期頃、「小学校時代にいじめられたことは忘れられない」と話していた。</p> <p>八幡浜署が女子生徒と同じクラスの男子生徒14人全員から事情聴取した結果、ほとんどが言葉のいじめや、そばに寄るのを大げさに避けたりしたことを認めた。しかし、いじめを繰り返していたのは数人だった。</p> <p>いじめた生徒は「何を言っても黙っていて面白かった」と話した。</p> <p>同じクラスの女子生徒らは、いじめには加わらなかったが、とくに助けようとしなかった。</p> <p>担任は1年生の時からのクラス担任で、2年生に進級する際も、「私が一番に事情を知っている。責任をもって当たる」と申し出ていた。保護者間でも熱心な教師と評判だった。</p> <p>1/29 全校集会で経緯や学校側の対応について説明。原因については、「同級生の男子生徒からのいやがらせやいじめによるもの」と認めた。「今回の不幸を引き起こした一番の責任は先生にある。本当にすみませんでした」と生徒たちに謝罪した。</p>	
148	1996/3/18	<p>山口県徳山市立徳山小学校の女子児童(小6・12)が、無視されるなど、学校内の友人関係をめぐる悩みを遺書に書き残して、自宅マンションから飛び降り自殺。</p> <p>昨年10月から学校のグループ内でのトラブルで悩んでいることを教師に相談していた。グループから孤立し、グループに入りたいと話していた。</p> <p>10日前に生徒相談室に来ていた。自殺前、学校へ行くのを渋っていた。</p> <p>3/21 学校は記者会見で、「死に至るほどに追い詰められていた心情を察すると、一種のいじめがあったと考えている。学校は、本人がよほどの気持ちでいたことを見抜けなかった」と述べた。児童たちからの聞き取り調査は「(精神的な)負担が大きいため聴いていない」とした。</p>	
149	1996/4/7	<p>愛媛県松山市立中学校の女子生徒(中2・13)が、始業式前夜に踏切に飛び込み自殺。</p> <p>1995/9/下旬 上級生2人からワンポイント入りの靴下を「校則に違反している」と言われ、それ以降、以降2学期は期末試験に出席しただけで、不登校になっていた。これ以外にも、同じ上級生から三つ編みの髪型を注意されたり、学校の廊下でポケットベル代金200円前後を要求され、Aさんは「なぜ出さなくてはいけないのか」と断ったことがあった。また、同級生の女子生徒数人からいろいろ陰口を叩かれていた。</p> <p>4/15 校長らが記者会見し、「昨年9月に先輩とのトラブルがあったが、すでに解決済み」、Aさんへのいじめについて全く知らなかったとした。「上級生からのいじめが不登校の原因と考えられるが、自殺の原因はわからない」「クラス内でのいじめは一切、確認されていない」とした。</p> <p>学校が市教委に報告した1995年度のいじめは2件。不登校は8件。</p> <p>Bさんについては、いじめと不登校として報告していたが、Aさんについては、不登校とだけ報告していた。</p>	
150	1996/4/10	<p>千葉県流山市の市立南部中学校の男子生徒(中3・14)が自宅マンションから飛び降り自殺。</p> <p>2年の1学期に、Aくんは学級委員長に立候補。まとめ役として活躍していたが、「真面目ぶるな」と言われ仲間外れにされるようになった。いじめを担当教師に相談していた。</p> <p>自殺当日4時限目の家庭科の授業中に表情が暗くなり、うつむいて泣いていた。</p>	

		<p>給食時間中にAくんはジャージ姿のまま教師に無断で下校。午後1時頃、捜しに来た担任教師がAくんの自宅前で見つけ、「ゆっくり話そう」と言って歩み寄ったところ、Aくんは無言で、泣きながら走り去っていった。約50分後、別棟のマンション10階から飛び降り自殺。</p> <p>2年の3学期に母親は教頭に「いじめを受けているので何とかしてほしい」と5回にわたって相談していた。3年生になる新学期から担任やクラスを替えてくれるよう要望していた。</p> <p>遺書はなく、市教委の委託を受けた調査委員会は「いじめと直接関係なし」と報告。</p> <p>自殺の背景にいじめと学校の対応のまずさがあったとして遺族が提訴。</p>	
151	1996/4/26	<p>茨城県真壁郡関城町の町立関城中学校の女子生徒(中2・13)が、自宅物置で首つり自殺。</p> <p>男子2名、女子1名の氏名をあげて、「人間がいる限りいじめはなくなる」と遺書を残していた。</p> <p>担任教師と生徒が悩みごとや学校でのできごとなどを毎日、日記につづり交換する「活動の記録」を続けているが、Aさんの記録には、いじめなどに関する記述はなかった。</p> <p>学校が緊急アンケート調査を実施。自殺の原因として思い当たることを無記名で書かせたところ、悪口を言われたり、自転車のタイヤにカバンのひもをグルグル巻きにされたりしていたことや、仲間から悪口を言われて悩み、自殺をほのめかす話をしていたことが判明。</p>	
152	1996/6/20	<p>長野県須坂市で、中学で受けたいじめが原因で通信制高校に通う女生徒が千曲川に身を投げて自殺。</p> <p>「さようなら。いじめられて、もうたえきれないので、さようなら…(中学時代の6人の友達の名前を挙げ)とつてもうらんでいます。でも許そうと思います。人生に疲れました。ではさようなら。」と遺書に書かれていた。</p> <p>女子生徒は中学校で学級長などを務めていたが、ムシなどいじめを受け、過呼吸発作で倒れるなど身体に変調をきたした。不登校となり、養護学校に転入したのち、通信制高校に入学していた。</p> <p>中学校・市教育委員会は、「弱い者への継続的ないじめ」といういじめの概念に当てはまらない、感情的なもつれはあったが、友達はAさんをいじめたのではなく、ささえようとしていたとして、「いじめが原因であるとは断定できない」と結論。</p>	
153	1996/9/18	<p>鹿児島県知覧町の町立知覧茶干学校の村方勝己くん(中3・14)が自殺。</p> <p>「生きていきたくない。学校がいやだ。家では自分の好きなことはできない。(6名の少年の氏名)この6人がいやだった。なぐられたりけられたり、いろんなことをしてくれた。死んで、きさまらをのろってやる。〇〇(いじめられている1人の名前)なんか僕以上にかわいそうだ。僕みたいに死なないでがんばってくれ。おれが死ねばいじめはかいけつする。」「おれはなんども傷をつかった。」「いままでにパシリにされた人やうたれた人は何十人もいる。こいつらには合計五万ぐらいはつぎこんだ。」と遺書に書いていた。</p> <p>勝己くんは、2年生の1学期から、上級生の2つのグループからいじめられたほか、同級生からも集団的ないじめを受けていた。</p> <p>自殺する一週間ほど前から、両親に内緒で学校を休んでいたことが発覚。集団暴行を知った両親が、そのうち1人とその両親を呼び出して話したが、最後は害少年の母親が自分の息子と勝己くんを握手させて終わった。</p>	

		<p>自殺直前に勝己くんは母親に「自殺するからね」と言っていたが、母親は、親に無断で学校を休んだことの言い訳だと思った。</p> <p>学校側は3回のいじめのみ公表。それ以外について、ほぼすべてを「知らない」とした。校長は、いじめだけが原因の自殺とは断定せず、他の要因も考えられるとした。町教育委員会に対する報告を怠っていたことが後に判明。</p> <p>1996/9/30 遺書でいじめをしていたと名指された生徒の父親(45)が、自宅裏で農薬を飲んで自殺。翌日死亡。</p> <p>2002/1/28 鹿児島地裁で、いじめを認め、町と生徒5人に計約4500万円の支払いを命令。原告側に過失相殺4割。</p>	
154	1996/10/29	<p>兵庫県神戸市灘区の市立小学校の女子児童(小6・11)が自宅寝室で首吊り自殺。</p> <p>両親は、夏休み前に女子児童が「そのピンクの服、似合わない」と言われ、無視されるようになったと主張。</p> <p>学校側は「いじめと思われる無視などはあったが、女兒は孤立していたわけではなく、死に至った原因は特定できない」とする事故報告書を提出。</p>	
155	1996/10/31	<p>新潟県新潟市の公園で、市立中学校の女子生徒(中2・14)が首吊り自殺。</p> <p>自宅には、いじめをほのめかず遺書があった。部屋のカレンダーの余白に「もう、だめ」と書かれていた。</p> <p>遺書の横に「がり勉」「大嫌い」などと、自殺した女子生徒を非難する手紙が4、5通置かれていた。この手紙を校長が預り、その後、処分。</p> <p>1997/3/ 「検討会議」は、「いじめ」定義にある「継続的・持続的」なものではない、「目的意識的に苦痛を与える行為ではない」、自殺の原因は「本人のパーソナリティー」等によるものとして、いじめによる自殺の範疇には当てはまらなると考えるという報告書を提出。</p>	
156	1997/1/7	<p>長野県須坂市常磐中学校の前島優作くん(中1・13)が、自宅の軒下で首吊り自殺。</p> <p>「あの4人にいじめられていた」「ぼうりよくではないけど ぼうりよくよりも ひさんだった」など書いたメモがズボンのポケットに入っていた。</p> <p>死後、優作くんの机の中から、「パシリ」など書かれた裏に磁石がついた白い札が複数枚発見される。</p> <p>1997/1/9 学校が教育委員会に提出した事故報告書には「自宅での自殺による死亡」「調査をしたが、不思議なくらい何も出てこない」と書かれており、「いじめ」のことも、「遺書」のことも書かれていなかった。添付書類欄は「なし」と書かれていた。</p> <p>4/ 追加報告が出るが、「遺書」ではなく「メモ」と書かれていた。学校も市教育長も「調査したが何もわからない」と報告。</p> <p>1999/2/2 教育委員会が設置した「市内中学校生徒の自殺にかかわる検討会議」が9カ月かかって報告書を提出。「遺書に書かれていたいじめの事柄は何であったか、このことを明らかにするために調査検討を行った。しかし、どれがそれだとは特定できなかった」と結論。「いじめ」の加害者については、ほとんど触れていない。</p> <p>2005/6/3 長野地裁で和解。</p>	

157	1997/1/28	北海道奈井江町の町立中学校の女子生徒(中1・13)が、学校3階のトイレで首吊り自殺。 自宅に友人関係の悩みを記した遺書があった。いじめに関する記述はなかったとされる。	
158	1997/4/10	長野県北佐久群望月町の県立望月高校の清水洋次くん(高2・16)が山林の中で首吊り自殺。 「実はいじめにあっていたんだ」と、暴力を受けたり、弁当をたべられたり、使い走りをやらされたこと、金を奪われたこと、プリントをやらされたことなどをフロッキーに残していた。 4/18 学校は記者会見で、「確認できた点が、亡くなった生徒にとって大きな苦しみと悩みのもとになり、それが要因になって死を選んだとすれば、そうした行為は、いじめに当たる」との見解を示した。 4/16の同じ学年の別の生徒の自殺について校長は、「(家族から)急性心不全で死亡したと連絡があった。生徒の家庭から知らされたことを17日のホームルームでそのままクラスに伝えた」と話した。書き置きが自宅に残されていたが、いじめなどに触れた記述はなかったことなどから、県教委は「(2つの自殺の)関連はない」とした。	
159	1997/4/10	長崎県佐世保市で、女子生徒(中1・12)が自宅マンション5階通路から飛び降り自殺。 女子生徒は3月末に津市から引っ越してきたばかりで、親に「言葉のなまりをばかにされた」と話していた。自宅の机の中から、同級生数名の実名をあげて5頁にわたり、「ばかにされた」と書いたノートが発見された。 クラスの生徒全員から事情を聞いた結果、「死ね」などからかかった男子生徒が5、6人いた。	
160	1997/4/13	静岡県駿東郡御殿場市の私立高校の男子生徒(高2・16)が、中学時代の同級生の土木作業員の少年(17)と高校生の少年(17)に恐喝や暴行され「親からもうお金をとれません」と遺書を残して自殺。 また、「楽しかった。こんなことで死ぬなんて友達に申し訳ない」「友人に15万円返さないといけない」などとも書いていた。 4/11 少年2人は、同郡の河川敷で男子生徒の顔を木刀で殴り、前歯2本、鼻の骨を折るなどのけがをさせた。 4/13 恐喝から解放された約1時間後に自宅で自殺。 男子生徒は家族に、「友人に金を借り、返してくれと言われている」などと話していた。 男子生徒は学校の友だちに「殴られたりして嫌な思いをしている」ともらし、「担任に相談してみたら」などとアドバイスをされていたが、「学校の外のやつらだから」と学校には言わなかった。 5/7 少年2人を恐喝の容疑で逮捕。中等少年院送致。 2001/4/18 静岡地裁で、加害者の男子生徒2人と親に約8800万円の支払い命令。	
161	1997/4/18	和歌山県かつらぎ町笠田小学校の男子生徒(小5・11)が校内で首吊り自殺。 上級生に体当たりされているのを目撃した児童あり。	

162	1997/5/15	<p>栃木県宇都宮市の私立高校の男子生徒(高3・17)が、ジャンケンに負けると肩を叩かれる「肩パン」をされたり、現金を要求されたなどのいじめを受けたと同級生の名前を記した遺書を残して飛び降り自殺。</p> <p>同級生逮捕。</p>
163	1997/5/22	<p>鹿児島県川内市の市立高校の男子生徒(高1・15)が、「学校でいじめられている。死ぬ」とのメモを残して、校舎屋上から飛び降り自殺。</p>
164	1997/5/25	<p>福岡県三潴郡三潴町の町立三潴(みずま)中学校の男子生徒(中3・14)が、自宅の敷地内の小屋で首吊り自殺。</p> <p>ポケットに、「(同級生に)使い走りにさせられていた」「(家族に)ごめんなさい」と書かれた遺書があった。</p> <p>被害生徒は、柔道部員だった。</p>
165	1997/5/31	<p>福岡県福岡市南区の私立高校の男子生徒(高2・16)が、マンションから飛び降り自殺。</p> <p>同生徒にバイクを盗ませようとして、被害者を装った少年から「盗もうとしたことを知られたくなかったら金を出せ」と脅されていた。亡くなる前に友人2人の家に立ち寄り、「さようなら」と告げていた。</p> <p>別の私立高校の男子生徒(高2)ら3人を逮捕。</p>
166	1997/8/3	<p>北海道旭川市の市立中学校の男子生徒(中3・14)が、金品要求などのいじめをほのめかすメモを残して、山林で首吊り自殺。</p> <p>「殺すとか言ってもホントは殺さないとは思うけど殺されるくらいなら自分で死のうと思って自殺した。」などと書いた手紙を友人に郵送していた。</p> <p>8/4 旭川署は、男子生徒(中3・14)を別の生徒への傷害容疑でも逮捕。</p> <p>8/21 暴行と恐喝容疑で追送検。同生徒とAくんとは、1年生のとき、バスケットボール部で一緒だったぐらいで、つきあった形跡はなかった。2年の時、けんか騒ぎを起こしてから、学校を休みがちになり、3年生になってからは、たまに終業時間頃学校に来て、「金を貸せよ」と迫ることがたびたびあった。</p> <p>学校長は、「送致容疑事実が自殺の一つの動機かもしれない。しかし、2人の接点は少なく、以前から何度もいじめられていたという事実は出ていない。率直なところ、よく分からないのです」と話した。</p> <p>Aくんの死後、学校は、いじめの有無などを聞き取り調査したが、仕返しを恐れて、生徒たちの口は固かった。加害生徒が逮捕されてから初めて、数件の恐喝が報告された。</p>
167	1998/3/20	<p>千葉県成田市立遠山中学校の鈴木善幸くん(中2・14)が、自宅敷地内の倉庫で首つり自殺。</p> <p>「〇〇せんぱいにおどされて8万円払った。そして、あと4万円がはらえない。ぼこぼこにされるなら死んだほうがましだ。かあちゃんやとうちゃんの金はぜんぶ〇〇せんぱいにはらった。これいじょうはらえない。しゅうきんの1万円はかあちゃんにかえず。〇〇せんぱいにむりやり紙にかかられた。ぼくはもう死ぬ。」などと書いた遺書が残されていた。</p> <p>卒業生のAと在校生のB(中2・14)は、賭トランプゲームで負けた善行くんの友人のCくん(中2・14)に、数万円を要求。Cくんが金を持っていなかったため、善幸くんを呼び出させ、Cくんにはたフリナイフを渡して、「これで鈴木くんから金を借りろ」と命令。善行くんの顔にナイフの刃をあてて脅したが応じなかったことから、2人はCくんを殴ったり、右手にタバコの火を押しつけたりするなど10日間のけがを負わせた。Aは借用書を作成し、Cくん署名させた。</p>

		1998/3/21 警察は善幸くんの自殺後、在籍していたクラス生徒を中心に恐喝体験などを聞き取り調査した結果、卒業生の少年を中心としたグループが数万円単位の現金を恐喝していることが発覚。被害生徒は10人前後。グループは被害生徒の自宅に電話をしていたために事件は表面化しなかった。警察は主犯格の在校生を使って恐喝行為をしていた卒業生の無職・少年(17)を逮捕。中等少年院送致。	
168	1998/4/7	福島県会津若松市の市立若松第一高校の男子生徒(高3・17)が、同級生たちからの日常的な暴行を苦に、磐梯町磐梯の自宅の小屋で首を吊って自殺。 男子生徒は「同級生5人から殴られたり、けられたりしている」などと担任教師に訴えていた。 教頭は記者会見で、「学校生活でいじめはまったく見あたらなかった」と話した、その後、「担任は今年3月に生徒のいじめに気づいていたが報告しておらず、学校としては把握していなかった」と語った。	
169	1998/4/14	大阪府堺市の市立平井中学校のグラウンドで、男子生徒(中2・13)が首吊り自殺。同生徒が、同級生3人から小突かれているのを教師が目撃していた。 男子生徒は以前、入所している児童養護施設職員に、学校や施設でほかの生徒と行っていた「プロレスごっこ」がつらいと、訴えていた	
170	1998/5/2	兵庫県西宮市立中学校の男子生徒(中3・14)が自宅のある市営住宅の12階階段付近から飛び降り自殺。病院に運ばれた。5/19 死亡。 自室から「ごめんなさい……疲れました」などと書かれたメモが見つかった。 4/28 男子生徒は学校の廊下で数人の生徒に囲まれ、髪をモヒカン刈りにされていたが、担任に対し、本人の意思であると答えたという。	
171	1998/5/5	長崎県巖原町の対馬高校の男子生徒(高3)が自宅で首吊り自殺。 男子寮の被害生徒のふすまに同生徒を中傷する言葉や絵が書いてあった。カセットテープに生徒の泣き声と「お母さん」と叫ぶ声が録音されていた。	
172	1998/5/27	広島県因島市県立高校の男子生徒(高3・18)が、不登校になったのち、自宅で首吊り自殺。 遺書などはなかったが、小遣い帳の1月から3月の支出欄に「1万円あげた」と記載が計3回あった。私物などもなくなっていたことが判明。	
173	1998/6/18	東京都八王子市立中学校の女子生徒(中3)が自室のドアノブにはちまきを結んで首吊り自殺。 交換日記に、「学校に行ってもつまらない。(2人に)いじめられている。みんなで仲良くしたいのに。」「死にたい」「(X-JAPANのHIDEの)後追い自殺ではない」などと残していた。この女子生徒は学級委員を務め、3年になってから1日も学校を休むことがなかったという。	
174	1998/7/	広島県の県立沼南高校の金高(きんたか)慎くん(高1・16)が、同級生ら7人からの度重なる暴行を苦に自殺。 暴行した男子同級生2人を少年院に送致。	
175	1998/7/25	神奈川県横浜市の県立野庭高校の小森香澄さん(高1・14)が、吹奏楽部での同級生らからのいじめを苦に自殺。 母親は何度も部活顧問で担任の教師にいじめの相談をしていたが、何の対応もとられていなかった。両親は市青少年相談センターに相談し、香澄さんはカウンセリングなどを受けていた。 2006/3/28 横浜地裁で、元同級生1人に計56万円の支払い命令。神奈川県に計	

		<p>330万円の支払い命令。 2007/2/19 東京高裁で元同級生Aさんと和解。 2007/12/21 東京高裁で神奈川県と和解。</p>	
176	1998/8/3	<p>埼玉県入間市の公立中学校の女子生徒(中2)が、自宅の自室で台所から持ち出した包丁で腹部を刺し自殺。 直前まで、午前中の部活動に行くと話しており、体操着姿だった。遺書などは見つかっていない。女子生徒はバスケットボール部に所属していたが、6月頃から自宅で「部活に行きたくない」「部活で友達にはじかれた」などと漏らし、体の不調を訴えてしばらく部活を休んでいたが、8月から部活動に復帰したばかりだった。</p>	
177	1998/8/6	<p>新潟県岩船郡朝日村の村立朝日中学校の男子生徒(中2・13)が自室で電気コードを使って首吊り自殺。 同生徒はサッカー部に所属しており、3月頃、2年生のサッカー部員に不満を言った後、2年生の部員10人と口を聞いてもらえなくなり一時部活を休んだ。また、貸した数百円を返すよう求めたところ、殴られるなどのいじめを受けていた。5月頃、同級生から脚を引っ掛けられるなどの嫌がらせを受け親に相談していたが、その後は元気になって部活を続け、自殺前日もサッカーの練習に参加していた。 1998/9/ 朝日村教育委員会の委託を受けて、大学教授や弁護士など7人で構成する「中学生徒の自殺にかかわる調査委員会」が発足。同中学校生徒からの聴取はしなかったが、事実関係を究明。いじめが自殺の直接の原因とは断定しなかったが、いじめの事実を確認するとともに、学校側の対応の不手際を指摘した。調査報告書には、学校側が遺族に教えなかったいじめの内容が、2、3含まれていた。 1999/7/ いじめた同級生のうち2人が暴行容疑で家裁新発田支部に書類送致され、1人が不処分、1人が試験観察処分。 2000/ 生徒とは示談。 2003/12/ 新潟地裁は村に対して、「学校は自殺の予見は不可能だったが、生徒に対する安全配慮を怠った」として、両親に計230万円を支払うよう命じた。</p>	
178	1998/10/19	<p>埼玉県春日部市の私立春日部共栄高校の校舎4階ベランダから男子生徒(高2・17)が飛び降り自殺。 同生徒は、所属する吹奏楽部内のトラブルをめぐり、午前11時から2階応接室で担当の教諭から事情を聞かれていた。同生徒は7月から生徒会長を務めていた。</p>	
179	1998/10/24	<p>福岡県福岡市西区の中学校の男子生徒(中2)が、「友人からいじめにあって、万引きを命令された」と訴えた直後に、自宅マンションから飛び降り自殺。 同日午前10時頃、近くのスーパーで整髪料などを万引きし店員に発見され中学教師が引き取りに来たが、その後、学校へは行かず自宅に戻ったという。</p>	
180	1998/12/15	<p>茨城県ひたちなか市の市立勝田第二中学の男子生徒(中1・13)が、「ぼくはもうたえられません。さようなら」と遺書を残し自宅の物置で首吊り自殺。 自殺前に母親に、「同級生に殴られた」と打ち明けており、数日前から学校を休んでいた。 校長は自殺後のいじめ調査の結果、「生徒は暴力から逃れるために自殺という方法をとったと思われる」といじめが原因の自殺と認める。</p>	

181	1998/12/26	<p>福岡県嘉穂郡飯塚市内の私立飯塚高校の古賀洵作(しゅんさく)くん(高2・16)が、同級生に「飲み会に女連れて来い。見つからなかったら飲み代はらえ」などと60万円要求され、自宅で首吊り自殺。</p> <p>学校側は、「いじめの事実そのものが存在しないか、事実の有無が明らかでない」とし、責任を否定し謝罪もない。また、学校は両親の要請に応じて「被害者が恐喝されていたことを知っているか」など、真相究明のために全校アンケートを実施。見せる約束をしていた回答用紙を開示せずに焼却。</p> <p>同級生6人を恐喝未遂等で中等少年院に送致。</p> <p>2000/10/10 1審で生徒と和解。1300万と直接謝罪。 2000/12/7 1審で学校と和解。500万と謝罪文。</p>
182	1999/3/3	<p>千葉県八千代市の14階建てマンションから、同市内の中学校の男子生徒(中1・13)が飛び降り自殺。</p> <p>自室から「13年間ありがとうございました。先輩にたばこを強要された。僕は死にます」などという内容のメモが見つかった。男子生徒はこの日も登校していた。</p>
183	1999/4/27	<p>東京都日野市内の市立中学校を卒業したばかりの少年(15)が、八王子市の山で首を吊って自殺。5/9 遺体が発見される。</p> <p>自宅に「高校もバイトもできない僕が住み込みなんて信じられないかもしれないけれど、ちよくちよく電話します。怪我や病気をしたらお世話になります」と手紙が残されていた。そのため、家族は単なる家出だと思っていた。</p> <p>中学2年生頃から上級生数人にいじめられ、次第に登校せず家に閉じこもるようになっていた。不登校中も、家人の留守中、バイクで少年を連れだしていたグループが目撃されていた。</p> <p>最初に校長や教頭、2・3年時の担任教師が焼香に訪れたときには、いじめがあったとして、土下座して謝ったが、遺族が弁護士を入れた途端、いじめはなかったと言い始め、いじめを否定。</p> <p>警察の調べに対して、担任教師らは、Kくんが家族に「暴行を受けた」などと話していた上級生グループが、下級生から現金を脅し取っていたことなどを知っていた。しかし、被害者の中に自殺した少年が含まれていたかどうかは、「分からない」と答えている。</p> <p>日野市教育委員会は遺族の問いに、「いじめは確認できていない」と回答。</p> <p>遺族と支援者らが、Kくんと同学年だった生徒ら複数の家を訪れて事情を聴いた結果、上級生の不良グループが下級生全体で数千万円にもものぼる金を恐喝していたと何人もが証言。また、Kくんは小学校時代から、いじめを受けていたことが判明。</p>
184	1999/7/6	<p>愛知県岡崎市で、中学校の男子生徒(中2・13)が自殺。</p> <p>周囲に「(仲間に)殺されてしまう」と冗談まじりに話していた。</p> <p>8/3 男子生徒に盗みを強要したり、自殺の前日(7/5)に集団暴行をしていた少年2人(中3・14)(中3・15)を逮捕。暴行に加わった容疑で、少年2人を書類送検、少年1人(中2・13)を児童相談所に通告。</p>
185	1999/7/7	<p>愛媛県松山市立勝山中学校の女子生徒(中3・14)が自宅浴室で首吊り自殺。</p> <p>遺書などは見つからないが、女子生徒は以前からいじめを受けており、中学に入って3カ月目くらいから不登校の状態が続いていた。</p>

186	1999/9/1	静岡県藤枝市で、市立中学校の男子生徒(中1・12)が自室で首吊り自殺。部屋から「みんな死ぬ」「つらい、いやだ」などと走り書きしたノートが見つかった。この生徒は、以前から学校でいじめがあったことを両親に打ち明けており、過去に部活などで暴行を受けていた。	
187	1999/10/15	大阪府堺市立商業高校の女子生徒(高1・16)が、自宅近くのマンション踊り場から飛び降り自殺。 現場と自宅に、「私をいじめた多くの方々へ 担任の先生へ おうらみします」など書かれた遺書があった。 10/14 自殺前日、女子生徒は教室で同級生らにカッターナイフを振りかざしたために、学校側が帰宅させていた。同日夜、担任教師が家庭訪問し、両親に学校を当分休ませるよう勧めると同時に、「通信制高校を選ぶ道もある」と話した。女子生徒は2階で会話を聞いていた。 学校作成の事故報告書などには、「いじめは確認できなかった」と書かれていた。遺書の存在も、担任が相談を受けたことも記されていない。事担任は当初、本人からの訴えを聞いていたことを否定していたが、後に調査結果が出てから、事実を認めた。 2001/1/18 自殺から1年3カ月たってようやく、正式に事実を公表し、いじめを自殺の主因と認めて遺族に謝罪。 2006/ いじめ自殺が社会問題化し、再調査のなかで、「原因不明」とされていたのを「いじめによる自殺」に修正。	
188	1999/11/8	千葉県山武郡の高校の男子生徒(高3・18)が首吊り自殺。 家族にあてた遺書に、同級生の名前をあげて、「お金を払う事にもうたえられませんでした」「十万円借りがあり、二万円払ったのですが、残り八万円を返しといてください。ちなみに、おどしとられていました」と書かれていた。 11/24 同級生の男子生徒(高3・18)を暴行と恐喝容疑で逮捕。	
189	1999/11/26	栃木県鹿沼市の市立北犬飼中学校の臼井丈人くん(中3・15)が、自宅で首吊り自殺。 同生徒は教室で下着を脱がされたり、顔にアイシャドーを塗られる、殴られるなどのいじめを受けており、学校はいじめていた同級生2人を指導していた。 2000/1/26 同級生の男子生徒(15)2人を暴行の疑いで書類送検。保護観察処分。 2005/9/29 宇都宮地裁で一部認容。(原告控訴) 2006/7/5 東京高裁で、元同級生2人の親と和解。 2007/3/28 東京高裁で、市と県に860万円の支払い命令。	
190	2000/2/10	青森県八戸市内の私立高校の男子生徒(高2・17)が、自宅のガレージ内で首吊り自殺。 2/5 他校の生徒数人から暴行を受けて顔面骨折などの大けがをして学校を休んでいた。	
191	2000/4/28	福岡県太宰府市で、男子高校生(高2)が自宅の納屋で首吊り自殺。 6/14 私立高校の男子生徒(高2・16-18)4人と県立高定時制の男子生徒(高2・18)を逮捕。2月から5月まで、この生徒を含む知り合いの高校生3人を自宅や公園などに呼びだして殴るけるの暴行を加え現金30万円を恐喝していた容疑。	

192	2000/5/14	<p>栃木県宇都宮市の市立中学校の男子生徒(中3・14)がプレハブ小屋で首吊り自殺を図る。5/15 死亡。</p> <p>家族と友人にあてた2通の遺書には、「友人関係でトラブルがあり、悩んでいる」「さようなら」などと4人の同級生とトラブルがあったことが書かれており、生徒の顔には数カ所殴られたようなあとがあった。</p> <p>また、3月下旬に「ボコられる」と友人に話しており、自殺前日、友人宅に泊まった際、「学校に行きたくない。死にたい」と言って泣いていた。</p>	
193	2000/7/1	<p>茨城県結城の中学生(中1)が自宅で自殺。</p> <p>「買ってこなければ1万円」というゲーム購入約束のメモをリュックの中に残していた。</p>	
194	2000/7/26	<p>埼玉県川口市の市立中学校の大野悟くん(中1・13)が、部活動から帰宅後、自宅2階で首吊り自殺。</p> <p>遺書などは見つからないが、ふだんから学校内で級友からいじめにあっていたという。自殺の前日、電話のメモ用紙に「HELP」という字を書いていたのを家族が目撃。</p> <p>学校側は、同級生数人とその親から事情を聴き、「度を過ぎた悪ふざけはあったが、悪質ないじめは確認していない」と発表。後日、遺族からの要請を受けて調査した結果、いじめと暴力があったと認め遺族に謝罪。ただし、いじめと自殺との関係はなお不明とする。</p> <p>8/1 夜、いじめをした同級生8人とその保護者らが中学校の校長と担任教諭らと男子生徒の自宅を訪れ、「いじめ」の事実を認めて謝罪。遺族が一人ひとりから事情を聴く。うち1人は、「入学直後から夏休みに入る直前まで毎日、足を蹴ったり、肘で首のあたりを打ったりするなどの遊びをしていた」と話した。後に主な加害者は9人であることが判明。残り1人も謝罪に訪れる。</p> <p>10/4 川口署は、同級生男子9人(中1・13)を児童福祉法に基づき、県浦和児童相談所へ通告。いじめと自殺との因果関係については触れられていない。</p> <p>2005/5/18 さいたま地裁で、原告の請求を棄却 2005/10/12 東京高裁で、控訴棄却。</p>	
195	2000/8/	<p>埼玉県幸手市の市立中学校の男子生徒(中2)が自殺。</p> <p>男子生徒は生前、友人に「死にたい」ともらしていた。学校が同級生らに聞き取り調査をした結果、昨秋から男子生徒に対して、複数の女子生徒らが「言わなくてもいいことを言ってしまった」「人の気持ちを思いやれるように気をつけていきたい」などと述べていることが判明。学校側は「心情的には(いじめと)認めたいが、遺書などはなく、悪口がいじめだったとは断定できない」とした。</p>	
196	2000/8/23	<p>長野県小諸市の県立小諸商業高校の校舎4階の教室から同校全日制商業科の男子生徒(高1・16)が飛び降り自殺。8/24 死亡。</p> <p>この日、学校では三者面談があり、クラスの生徒から陰口を言われているような気がすると言っていたという。</p>	
197	2000/9/4	<p>長崎県佐世保市内の市立中学校の男子生徒(中3・15)が自宅で首吊り自殺。</p> <p>学校の調査に、複数の生徒が、「いじめにあっていたらしい」と答えていたが、校長は、「陰湿で執拗なものではないので、いじめはなかったと考えている。男子生徒も殴られたことで悩んでいる様子もなかった」と話す。</p>	

198	2000/10/11	<p>福岡県北九州市小倉南区の中学校の男子生徒(中3・15)が「ぼくはもうつかれました」と走り書きを残し、自宅で自殺。</p> <p>2000/9/4 少年4人が、小倉南区の路上にAさんと友人の無職少年(16)を呼び出し、知人のバイクを盗み壊したとして、「15万円払うか、警察に言うかのどっちがいいか選べ」などと言って、2人に修理費などの名目で「1カ月以内に15万円払います」との誓約書を書かせた。</p> <p>9/20-10/7 少年らは2人から、3回にわたって計14万5千円を脅し取った。</p> <p>10/7 未明、少年らは同区内の駐車場で、Aくんを含む中学生5人を殴ったり、顔を蹴ったりしていた。</p> <p>10/10 バイク修理代名目の2万5千円の支払い期限だった。</p> <p>生徒ら2人からバイク修理費などの名目で金を脅し取ったとして、同区内の会社員(19)と専門学校生(19)、アルバイト店員(15)、無職少年(15)を逮捕。会社員と無職少年は中等少年院送致、専門学校生は保護観察。</p>	
199	2000/10/13	<p>千葉県市原市の市立有秋中学校の女子生徒(中3・15)が自宅の裏の木にロープのようなものをかけて首吊り自殺。</p> <p>「あいつら絶対許さない。復讐してやる」などと書かれたメモが見つかった。女子生徒は、小学校2年生のときから同級生にいじめられており、小学校4年生のときに自殺未遂をしていた。</p> <p>中学生になっても入学直後から、中3の亡くなるまで、ほぼ毎日のようにいじめは続いていた。同級生の男子生徒4、5人から、机の表面に「死ね」と書かれたり、「大魔人、死ね。パンパン」などと撃つまねをされるなどのいじめを受けていた。6月にも手首を切って自殺未遂をしていた。</p> <p>亡くなる2週間前、Aさんはトイレの中で友人に、「どうやったら、いじめ、なくなるの」「あいつら絶対許さない。復讐してやる」と言っていた。同学年の男子生徒5人の名前をあげて「死んでのろう」「化けてでてやる」と言っていた。友人が「あともうちょっとだからがんばろうよ。みんなと一緒に高校行こうよ」と言うと、「もう疲れた」とこぼした。Aさんが「担任は役立たずだから」と言っていたため、友人はこのことを担任に告げなかった。</p> <p>学校は市学校教育課に、女子生徒に対するいじめが「昨年の2学期までに解消していた」と報告していた。</p> <p>2005/12/26 千葉地裁で和解。市川市と千葉県がそれぞれ150万円を、男子生徒5人が計300万円の総額600万円を支払い、「市は、いじめ問題があったことを認めて謝罪し、再発防止を徹底する」の内容を和解条項に盛り込むことで合意。</p>	
200	2001/1/9	<p>愛媛県松山市の私立高校の男子生徒(高2・17)が、始業式の日、自宅で首吊り自殺。</p> <p>「世の中がいやになった。先に休みます」との遺書があった。</p> <p>校内では、この男子生徒がいじめられていたとの声があがっている。</p>	

201	2001/6/26	愛知県名古屋市東区の私立金城学院高校の女子生徒(高3・17)が、マンションから飛び降り自殺。 1年生の終わりごろから摂食障害などで入退院を繰り返していた。遺書はなかったが、同級生からのいじめを詳細に記した日記が見つかった。入学直後から、系列の中学から進学した同級生となじめず、悪口を言われたり、集団で無視されたりといったいじめを恒常的に受けていたと記されていた。 2002/ 卒業した同級生にアンケートを送るなどの調査をしたが、いじめの具体的な事実は確認できなかった。 2002/12/ 学校側は生徒会新聞に自殺に至る経過を説明した父親の手記とともに、校長名で謝罪する文章を掲載。	
202	2001/7/1	栃木県宇都宮市で、高校生の少年(高3・17)が同級生とともに、知り合いの無職・少年に小学校に呼び出され、暴行を受けたあと、自宅で自殺。 現場には無職・少年の仲間もいた。	
203	2002/4/24	鳥取県鳥取市の県立高校の男子(高2・16)が自宅近くの物置小屋で、首吊り自殺。 4/26 男子生徒の葬儀のあと、男子生徒の中学時代の友人ら6人(16)が、「高校でいじめられて自殺したとのうわさを聞いた」として、男子生徒と同じ高校の生徒5人に暴行を加え、内2人に顔面打撲などのけがをさせる。 学校長はいじめを否定。	
204	2002/10/11	東京都文京区の東京学芸大付属竹早中学校に通う男子生徒(中3・15)が、板橋区のマンションの14階の非常階段踊り場から飛び降り自殺。 男子生徒は両親に学校でアトピー症状を「きもい」と言われるなど同級生からのいじめにあっていることを打ち明け、家族は学校に相談をしていた。 学校は「生徒らに確認したが、いじめの事実は確認できなかった。自殺の理由はわからない」とした。	
205	2002/11/8	大阪府泉大津市立中学の男子生徒(中2・14)が、昼休みに学校を抜け出し、近くのマンションから飛び降り自殺。 男子生徒の胸には、生前にできたとみられる青アザがあり、手に握りしめた手帳やポケットに入れられた紙には、交友関係の悩みをつづった記述があった。	
206	2002/11/	福岡県久留米市で、公立中学校の男子生徒(中2)が自宅で自殺。 学校は「仲間はずれがあった」と認めたが、「いじめ自殺」には入れなかった。	
207	2002/12/21	京都府京都市内のスイミングスクールに通っていた伏見区の男児(中1・13)が、スクールの1学年上級の男児(中2・13)から「K-1ごっこ」と称して暴力を受けたり、昼食代をとられるなどのいじめを受け、自室で自殺。 生徒や生徒の保護者は、コーチやインストラクター等に対して、Aがいじめを行っていることを伝えていた。また、AがRくんに対してエアガンを撃っているのを目撃した生徒がコーチ等に伝えたが、「現場を見なければどうしようもない」「見たひとは教えてください」と言うだけで、Aに注意をしなかったという。コーチ等はRくんの両親に、いじめがあることを知らせていなかった。	
208	2003/3/31	岩手県一戸町の中学校の女子生徒(中2・14)が、自宅の部屋で首を吊って自殺。「生きているのに疲れました」などと書いた遺書や「いつも仲間外れ。学校いやです、死にたいよ」と書いたメモが見つかった。死後1カ月近くしてから「死にたい・・・なんで人間はこんなにも弱いのだろう」「ただ傷が増えていくばかりだった」と書かれた携帯電話の未送信メールが見つかった。 学校はホームルームや部活などで、生徒にいじめの有無について聞いたが、証	

		<p>言する生徒がいなかったために、「うわさはあったが、いじめはなかった」と結論付け、PTAIに説明。</p>	
209	2003/4/9	<p>福島県川俣町の県立川俣高校の男子生徒(高3・17)が自宅近くの倉庫で首吊り自殺。</p> <p>男子生徒は2年生の2学期頃から「学校に行きたくない」と繰り返すようになり、2、3学期に20日間ほど休んだ。始業式(4/8)も登校せず、「同級生に学校に来るな。いつ辞めるんだと言われた」と話していた。</p>	
210	2003/5/5	<p>愛知県名古屋市市の市立北陵中学校の柴田祐美子さん(中3・14)が、マンション14階から飛び降り自殺。</p> <p>机の中から「肉体的にも、精神的にも疲れ果てたので、先に死なせてもらいます。最大の理由はA子のこと。まだムカツクよ。」「ひきょう者でごめん。だけど、もうたえられないんだよね。」などと書いた遺書が見つかった。</p> <p>2010/3/30 名古屋地裁で棄却。 2011/11/10 名古屋高裁で棄却判決。</p>	
211	2004/6/3	<p>埼玉県蕨市で女子生徒(中2)が飛び降り自殺。</p> <p>女子生徒は、部活動の仲間から罰ゲームとして、指名された男子生徒に「好きだ」と言わされることを苦にしていたほか、害虫のあだ名で呼ばれるなどのいじめを受けていた。</p> <p>蕨市教委は当初、「主たる原因は不明」と報告。</p> <p>2006/11/ 文部科学省はいじめ自殺が相次いだことから再調査要望。 2006/12/ 「担当者の個人メモ」を根拠に、「いじめも理由の一つと考えられる」と修正報告。 2006/12/25 A子さん宅を教育長と市教委職員が訪問。文科省の再調査で、両親に連絡せずに回答したことについて謝罪。</p>	
212	2004/9/3	<p>神奈川県相模原市で、市立中学校に通う男子生徒(中2・13)が、両親の目の前で飛び降り自殺。</p> <p>男子生徒は1年の3学期にいじめで不登校になった。学校側はいじめた生徒に謝罪させ、2年に進学してからはほぼ休みなく登校していた。7月から休みがちになり、新学期9/1、9/2に欠席したため、担任教諭が男子生徒に電話したところ「学校に行きたくない」と言っていた。両親にも「いじめられているから、学校に行きたくない」と言っていた。</p>	
213	2005/1/30	<p>滋賀県余呉町の山林で、県立高校の男子生徒(高2・17)が首吊り自殺。</p> <p>同生徒は無職・少年2人(17・18)と同じ高校に通う少年(高1・16)に脅されて現金を渡しており、恐喝を苦に自殺したとみられる。</p> <p>少年3人らを含む4人は、被害生徒を含む8人から計100万円を脅しとっていた。</p>	
214	2005/4/13	<p>山口県下関市の市立川中中学校の校舎内で、女子生徒(中3・15)が首吊り自殺。</p> <p>女子生徒はこの日、放課後の吹奏楽部の練習に遅れ、別の女子生徒にこがめられた後、急にいなくなった。練習は、生徒だけの自主練習で教師はいなかった。自宅机の上にあった写真立ての中から、中央に赤字で「死」と書かれ、周りに黒のボールペンで「死んだらもういじめられないですむ」「死んだらみんなもよろこび、悲しまないだろう」など書いたメモが発見された。</p> <p>女子生徒は小学校3年生からいじめられ、中学入学直後からいじめられていた。2年生時に少なくとも4回、母親が担任教師にいじめの相談をしていた。本人も「生活ノート」などにいじめの存在を訴えてた。</p>	

		2006/10/ 県教委が、「いじめも自殺の原因のひとつ」と報告。	
215	2005/9/9	北海道滝川市の市立小学校で、松木友音さん(小6・12)が教室で首を吊り自殺をはかり、ぐったりしているのを登校してきた同級生が発見。意識不明の重体。担任の机の上に、いじめを示唆する数通の手紙が置いてあった。2006/1/6 死亡。自殺をはかる直前の修学旅行では、何度も話し合いがもたれたが、友音さんだけグループに入れてもらえなかった。 2010/3/ 札幌地裁で、滝川市と和解。	
216	2005/10/4	長崎県対馬市で、高校の男子生徒(高1・15)ががけの上に設置されたガードレールに、ロープをかけて首吊り自殺。 自室にあったノートの中に、友人関係のトラブルを示唆する文章が見つかった。また、男子生徒は同日午後、母親とともに三者面談を受けていたという。	
217	2005/10/11	埼玉県北本市の市立中学校の中井佑美さん(中1・12)が制服姿でマンションから飛び降り自殺。 遺書にはいじめをにおわすような記述があり、遺族が一部の生徒に無視されていたなどという証言も得る。佑美さんは小学校のときからいじめられていた。 2006/11/ 遺族が北本市と文部科学省を相手どって、計2000万円の損害賠償を求めて提訴。	
218	2005/12/6	長野県北佐久郡御代田町の丸子実業高校の高山裕太くん(高1・16)が自宅で首吊り自殺。 ノートに「いじめをなくしてもらいたい」「謝罪をしっかりとってもらいたい」など書いていた。裕太くんは男子バレー部内でのいじめを苦にしており、学校や教育委員会に相談していた。学校側はいじめとは考えていないと回答。 2009/3/6 長野地裁で、上級生1人に対して1万円の支払い命令。ただし、いじめを明確に認定せず、自殺との因果関係も判断せず。 バレーボール部の顧問と部員・保護者30名が裕太くんの母親を逆提訴。長野地裁は、高山さんが「平穏な私生活を違法に侵害した」として、母親に対して、顧問ら23人に1人あたり5千円から5万円、計34万円の支払い命令。母親が控訴するがその後取り下げる(1審確定)。 2011/1/14 長野地裁上田支部で、校長の社会的評価を低下させ、名誉を傷つけたとして、遺族である母親と弁護士に計165万円の支払いと謝罪広告命令。	
219	2005/12/13	広島県福山市の市立中学の男子生徒(中2・13)が自宅で首吊り自殺。 男子生徒は小学校時代から不登校気味で、12/5の期末テストは受けたが、12/6以降は欠席していた。 1/ 男子生徒の母親が学校に、机の上に直接弁当のおかずを置いて「食べろ」と命令されたり、試験の点数を無理やり「見せろ」と言われるなどのいじめを受けていると相談していた。	
220	2006/4/5	宮崎県小林市の市立東方中学校の男子生徒(中2・13)が新学期の始業式のあと、自宅に隣接する牛小屋で首吊り自殺。 4/4 男子生徒は家族に「(剣道部の)練習が厳しい。やめたい」と泣きながら訴えていた。部活の人間関係の悩みも話していたという。 遺書には学校での悩みやいじめについて書かれていなかったが、家族は「いじめがあった」と学校に連絡。	

221	2006/7/4	<p>埼玉県越谷市で私立開智中学の杉原賢哉くん(中3・14)が、学校であった「盗難事件」について「大変なことが起きている」と母親に告げた翌日、鉄道自殺。学校側は賢哉くんが見たという盗難事件については見間違いもありえると説明。事実解明は行われなかった。その後、賢哉くんは、悪口を落書きされたり、盗難事件の生徒からサッカーの授業中に顔面にボールを蹴られるなどしたという。</p> <p>2008/7/18 さいたま地裁で、学園の報告義務違反のみを認め、22万円の支払い命令。</p> <p>2009/2/26 東京高裁で、一審判決を支持。遺族と学園の上告を棄却</p>	
222	2006/8/17	<p>愛媛県今治市の市立中学校の堀本弘士くん(中1・12)が夏休みの登校日前日、道路沿いの電柱で首吊り自殺。</p> <p>自宅机の中に「クラスでは『貧乏』や『泥棒』という声が響いていて悲しい気持ちになる」「最近、生きていくことが嫌になってきた」などと書かれた遺書があった。弘士くんは小学時代、両親にいじめられていることを打ち明けていた。中学校では両親に、いじめは収まったと話していた。</p> <p>学校は、市教育委員会や中学校に、Aくんが言葉によるいじめを受けていたとの報告を上げていた。</p> <p>4/末に校内で実施した無記名アンケートで「いじめられている子がいる」との指摘があり、学校は生徒の動向に注意を払ったが、具体的ないじめの事実把握できなかったという。</p>	
223	2006/8/18	<p>愛知県岩倉市の高橋美桜子(みおこ)さん(16)が、「もうつかれたの」などと書いた遺書を残し、自宅マンションから飛び降り自殺。</p> <p>美桜子さんは2002/4/1名古屋経済大学市邨(いちむら)中学校に入学したが、夏ごろから翌年3月まで、同級生から画びょうを靴に敷き詰められたり、「うざい」「きもい」「死ね」などの言葉を浴びるなど長期間にわたるいじめにより、1年修了時に転校。まもなく、不眠症、フラッシュバックなどの症状が表れ、PTSD(心的外傷後ストレス障害)の診断を受けた。対人恐怖による不登校が続いていた。主治医は、中学時代のいじめが強い心的外傷となり、別人格が生じる解離性障害と診断。自殺の原因についても「いじめが主要な影響を及ぼしている」と診断した。</p> <p>中学を運営する学校法人市邨学園教員である母親が法人を相手取って起こした地位確認訴訟の控訴審判決で、名古屋高裁も美桜子さんがいじめを受けたと認定(2006/3/確定)。しかし、同法人はその後も、同級生の行為を「いじめではなくいたずら」とし、いじめを認めず、行為から4年たっていることなどから自殺との因果関係も認めない。</p> <p>2009/8/18 母親が法人、法人理事長、中学校長、元担任、加害生徒とその親らを相手取り、約4260万円の損害賠償を求める訴えを名古屋地裁に起こした。</p> <p>2011/5/20 名古屋地裁で、学校側の責任を認め、約1490万円の支払いを命じる。いじめ、自殺の予見性、いじめと後遺症による自殺の因果関係を認定。</p> <p>2012/12/25 名古屋高裁で、一審同様にいじめ放置と解離性同一性障害の発症との因果関係を認め、学校法人に約620万円の支払いを命じた。しかし、いじめの放置から自殺まで3年4カ月余りあった点を指摘。「自殺の主な原因は直前の人間関係などによるストレスにあった」とし、自殺との因果関係は認めなかった。(確定)</p>	

224	2006/10/11	<p>福岡県筑前町の町立三輪中学校の森啓祐くん(中2・13)が、自宅納屋で首吊り自殺。</p> <p>「いじめられてもう生きていけない」「いじめが原因です。さようなら」などと書いた遺書があった。中学1年生のときの担任教師から「偽善者」などと言われていたことが発覚。</p>
225	2006/10/23	<p>岐阜県瑞浪(みずなみ)市の市立中学校の女子生徒(中2・14)が、自宅で首吊り自殺。</p> <p>所属するバスケットボール部の女子生徒4人の名前を挙げて、「本当に迷惑ばかりかけてしまったね。これでお荷物が減るからね」と書かれた遺書があった。</p> <p>自殺の6日前、母親が「クラブに迎えに行った際、泣き出した。何かあるのでは」「クラブ活動の人間関係で悩んでいる」と学校に相談していたが、学校は何もしていなかった。</p> <p>10/27 学校は遺族の前で、一旦はいじめを認めていた。</p> <p>10/29 記者会見で、校長は「言葉によるいじめがあった」「原因はわからない」「広い意味のいじめはあったが、自殺の原因になったかどうかはわからない」とした。</p> <p>10/30 記者会見で教頭は、「現段階でいじめの事実は確認できていない」と話した。校長は、「『ウザイ』などのからかう発言はいじめに当たると思うが、自殺につながるかは推測の域を出ず、最終的な原因に結び付けられない」「自殺につながるようないじめはなかった」「(学年主任は)長時間にわたるやりとりで、意識がもうろうとして事実を確認せずにいじめがあるように表現した」とした。</p> <p>10/31 校長は、「これまで発言が二転、三転してきたが、女子生徒の立場に立つと、言葉によるいじめがあったと認めざるを得ない」と述べ、「いじめが自殺につながった可能性が大きい」との統一見解を示した。</p>
226	2006/11/9	<p>福岡県北九州市小倉北区の南小倉中学校の校舎から、卒業生の無職・少女(17)が飛び降り自殺。</p> <p>「私はイジメにあっています」「学校で自殺します。気づいてくれない先生がにくい」などと自殺を予告する手紙が学校に届いていた。差出人名はなかったが、筆跡鑑定で本人のものと同ぼ断定。</p>
227	2006/11/12	<p>埼玉県本庄市で、男子生徒(中3・14)が自宅敷地内の倉庫で首を吊って自殺。</p> <p>11/6 男子生徒は友人3人と県教委が学校に派遣している相談員に、「今月に入ってから別のクラスの生徒ら『500円を返せ』『利子がつくので2万円返せ』と要求されている」「2年生の時も金をとられた」と相談していた。学校側は「金銭の要求には応じないように」と指導していた。</p> <p>学校は、報告書で「いじめが自殺の原因とは言えない。原因は特定できない」と結論。</p> <p>2008/3/25 さいたま地方法務局が遺族から申告を受け、関係者から聞き取り調査を実施。その結果、同級生による度重なる金銭要求が人権侵犯事実と認定される。中学校に、再発防止を求める「啓発」を行った。</p>

228	2006/11/12	<p>大坂府富田林(とんだばやし)市で、大川理恵さん(中1・12)が飛び降り自殺。自宅机のうえに「わたしは自殺します。さようなら」などと書いた遺書が残されていた。理恵さんは生まれつき体の成長が遅くなる病気で、成長促進の注射を打つ治療をしていた。小学生時代から同級生らに背が低いことをからかわれたり、足を引っ掛けられる、通せんぼをされるなどのいじめを受けていた。学校側はいじめの予兆を把握していたが、その都度つみとっていたという。</p> <p>2008/11/18 同学年生徒へのアンケートの結果、学校は「いじめが自殺の要因になった」と認める。</p>
229	2006/11/14	<p>新潟県神林村の村立中学校の男子生徒(中2・14)が、部活動を終えて下校後、自宅農家の作業場で首吊り自殺。</p> <p>男子生徒は複数の生徒が見ている前で、同級生の1人にズボンと下着を下ろされたあと、「死にたい」「転校したい」などと繰り返しもらしていた。</p> <p>加害者は被害者と同じ小学校出身で、親友だった。</p> <p>2007/3/22 自殺の原因などを調べる有識者の調査委員会は、「いじめ自殺には当たらない」とする報告書を村教育委員会に提出。同校では生徒間のズボン下ろしが流行しており、男子生徒も仲良しの同級生にズボンを下ろされていた点や、男子生徒が継続して一方的にからかわれたという事実が認められないという点などからいじめを否定。一方、「小中学生の自殺報道が盛んにされていたことの影響」も指摘した。</p>
300	2006/11/22	<p>山形県高島町の県立高島高校で、渋谷美穂さん(高2・16)が、渡り廊下の屋根から飛び降り自殺。</p> <p>携帯電話に実名で書かれた5人の生徒以外の同級生に対して、「これで満足？もう、ワキガ臭くも、おなら臭くもないもんね。皆が言った暴言、痛かった。いつも泣きたかった」「死は怖いけど、生きているより怖くはないです」「今回のイジメでやっと理解した。うん、理解させられた。私は皆に不快な思いしか与えられないんだってこと」と残していた。</p> <p>自殺直前に「男子からも消しゴムのかすをかけられる」と母親に打ち明けていた。</p> <p>2009/11/20 両親は山形県を相手に民事裁判を起こす。</p> <p>2014/3/11 山形地裁で、両親の訴えを棄却。</p>
301	2006/12/13	<p>福島県浪江町の町立中学校の男子生徒(中2・14)が行方不明になる。</p> <p>12/18 自宅近くの物置で自殺しているのが見つかる。</p> <p>12/3 男子生徒は親類の中学生(中1・13)の携帯電話に、「以前入っていたクラブの部員に殴られて、小屋に閉じこめられた」と連絡していた。</p> <p>10/ いじめアンケートの「一部の人に無視される」「通りすがりに嫌なことを言われる」にマルをつけていた。</p>
302	2007/2/1	<p>千葉県松戸市の市立中学校の男子生徒(中2・14)が、マンション8階から飛び降り自殺。</p> <p>男子生徒は2年生の1学期頃から部活内で「疎外感を感じる」と顧問に訴えていた。</p> <p>1/31 同学年の他の生徒7人とともに、1人の生徒を殴ったり、足をかけたりして肩の骨を折るけがを負わせた。8人は学校の指導を受け、被害生徒に謝罪していた。男子生徒が自殺したマンションは被害生徒の住んでいるマンションだった。</p>
303	2007/6/8	<p>大阪府茨木市の追手門学院大学の在日インド人の男子大学生(大3・20)が、自宅マンションから飛び降り自殺。</p>

		<p>遺書には「学校で受け続けたイジメ(略) 僕はもう限界です。僕には居場所がありません」などと記されていた。自殺する2日前に親友に送った携帯メールには「毎回学校で嫌な思いをするのは耐えられない」「学校行くたびに傷ついていくなんて最悪」「学校は楽しい場所であってほしい」などと大学でのいじめを示唆する文面が残されていた。</p> <p>遺族はゼミ担当教授らに、自殺原因とみられるいじめの調査を依頼し、同教授が再三にわたり、大学側に早期の調査と原因究明を求めたが、大学側は「調査対象の学生の親から苦情が出る」などとして調査をせず放置。息子の自殺から約1年後、自宅で病氣療養中だった父親が、「息子に会いに行く」と言って同じ場所から飛び降り自殺。</p> <p>2010/8/ 遺族は大阪弁護士会に人権救済を申し立てる。</p> <p>2010/12/27 大学は、いじめが自殺の一因になったことが否定できないとする第三者委員会の調査結果を発表。</p>	
304	2007/7/3	<p>兵庫県神戸市須磨区の私立滝川高校で、男子生徒(高3・18)が、校舎から飛び降り自殺。</p> <p>ズボンのポケットに「金を要求されたが払えない。成績も下がり、死ぬしかない」などと記したメモが残っていた。</p> <p>男子生徒は2年生の頃から、同級生グループ内で仲間の食料を買いに行かされたり、全員の飲食代を支払わされたり、日常的に嫌がらせを受けていた。また、フットサル同好会紹介のためのインターネットサイトにメンバーのプロフィールなどとともに、男子生徒を「うそつき」などと中傷する内容の書き込みもあった。男子生徒の裸の下半身の写真が掲載されていたが、被害の男子生徒が見つめて削除したもよう。サイトは途中から個人攻撃が目立つようになり、閉鎖。(後にBが作成・管理していたことが判明)</p> <p>学校側は、同級生への聞き取り調査で、Aくんが金銭要求されていたことや、使い走りをさせられていたことを把握。しかし、「いじめられていた」という証言がなかったことから、「命令だったり、本気の要求ではない」とした。</p> <p>自殺した日の朝に模擬試験の結果発表があったことから、「成績を苦しめた自殺」と報告していた。</p> <p>2007/9/17 校長は記者会見で、被害生徒と逮捕された男子生徒とは、最も仲の良いクラスメート同士に見えたといい、「いじめや嫌がらせがあったとは認識していない」と発表。</p> <p>9/21 学校はいじめがあったと認める学内の調査結果を公表。しかし、遺族に対して事前に連絡や説明をしていなかった。</p> <p>2007/9/25 同級生の男子生徒2人(高3・17・18)を恐喝未遂容疑で逮捕。</p> <p>リーダー格Bは被害者と同じフットサル同好会に所属。登下校も一緒だった。男子生徒の葬儀に、Bは遺族とともにひつぎをかついだという。</p> <p>12/4 神戸家裁は、Bを中等少年院送致とする保護処分を決定。</p> <p>2008/3/10 残り3人を保護観察処分とする。</p>	

305	2007/7/3	<p>大阪府大東市の市立中学の男子生徒(中2・13)が、自宅3階ベランダで、ひも状にしたカーテンで首吊り自殺。</p> <p>遺書はなかった。男子生徒は昨年5月と今年4月の2回、同級生の男子から「きしょい」「あっちに行け」などと言われ、担任に「友達から悪口を言われた」と泣きながら訴えた。担任は同級生も交えて3人で話し合い注意し、双方の保護者にも連絡したという。</p> <p>校長は「継続的に圧迫されていたわけではなく、いじめには当たらないと認識している」と述べ、自殺との関連性は否定。大東市教育委員会学校教育部の指導官も同様の見解。</p>
306	2007/7/4	<p>明治大学理工学部の男子学生(21)が、茨城県内の実家で首吊り自殺を図り、7/15死亡。</p> <p>男子学生は応援団リーダー一部員だったが、2007/1/退部。実家に戻った直後に自殺未遂をし、4月から休学していた。部内でのいじめを示唆した遺書があり、「応援団内の人間関係で悩んでいる」と親族に相談していた。</p> <p>自殺後、大学は調査委員会を設置し、「部の伝統的な体質に問題はあがあるが、いじめはなかった」としていたが、暴行現場(軍歌が流れる部室で、男子学生が下半身を裸にされ、バケツに入った熱湯と冷水に局部を交互につけさせる用意が収められていた)を写したビデオが発見され、再調査に乗り出す。</p> <p>2008/1/25 リーダー部を解散させる。リーダー部の元幹部らは暴行の事実を認め、「自殺の一因かもしれないが、すべてではない」と話しているという。リーダー部内で、「鉄拳制裁」などの行為が慣行としてあった。</p>
307	2007/9/13	<p>東京都練馬区の区立三原台中学校の近藤絢(けん)くん(中2・13)が、自宅で首吊り自殺。</p> <p>両親は当初、思い当たる原因がなく、既往症の心室中隔欠損症による病死と発表してくれるよう、学校に依頼。その後、いくつものいじめの情報が寄せられ、学校に自殺の発表とアンケートなど、いじめの調査を依頼するが、学校は拒否。1年後に自殺であったことを発表するが調査はせず、学校も教育委員会も、いじめが原因の自殺ではないとする。</p>
308	2007/10/9	<p>大阪府茨木市の府立山田高校の男子生徒(高1・15)が、マンションから飛び降り自殺。</p> <p>男子生徒は好意を寄せていた水泳部の女子マネージャーにふられた腹いせに、「むかつく」とマネージャーの悪口を友人にメールで送信したところ、このメールが他の部員らに転送され、部内での人間関係が悪化。</p> <p>8月末、男子生徒は「ごめんオレもういいわ 空に行くから」と自殺をほのめかすメールを送信。これも部員らに転送された。</p> <p>9月末、男子生徒は保護者に、「水泳部で浮いている」と相談。母親が担任教師に相談していた。担任教師は、3回にわたり本人に聞き取りを行い、メールの存在も把握していたが、保護者に連絡しなかった。</p> <p>2012/5/30 大阪地裁で棄却。その後、大阪高裁でも棄却。</p>
309	2007/10/21	<p>青森県八戸市の県立八戸工業高校の男子生徒(高1・16)が、所属していたラグビー部でのいじめとそれに関連した同部顧問教諭の不適切指導を苦にして自殺。</p> <p>男子生徒は、ラグビー部顧問教諭の勧誘で入部。しかし、直後から部内でのいじめを受けるようになり、5月には退部を決意。顧問教諭は男子部員をしつこく引きとめ、「退部するなら退学しろ」と発言したという。</p>

		男子部員は睡眠障害や抑うつ症状を発症。 2011/4/12 生徒の両親が、青森県を相手取り約7500万円の損害賠償を求める訴えを青森地裁に提訴。	
310	2007/10/31	岡山県岡山市の女子生徒(中3・14)がJR山陽線で列車に飛び込み自殺。 9月中旬、女子生徒が開設していたインターネットの掲示板に、「それこそ嫌われ物間違いなしね もう既に嫌われ物かッ」などの内容が書き込まれていた。 12/ 母親がサイトの書き込みを発見し、容疑者不詳のまま告訴。 2008/2/28 同級生(中3)を侮辱の非行事実で岡山家裁に書類送致。	
311	2007/11/16	岡山県岡山市の公立中学校出身の私立高校の男子生徒(高1・16)が自殺。 遺書にいじめに関する記述はなかったが、ほぼ全身に多数のあざがあった。 2007/11/19 中学校時代の先輩で、土木作業員の少年(18)と、自殺した生徒と同じ私立高校に通う男子生徒(高2・16)が、後輩ら3人を河川敷に呼び出し暴行を加えたとして傷害容疑で逮捕。自殺した男子生徒も暴行などの被害にあっていた。	
312	2007/12/1	群馬県西毛地区の県立高校の男子生徒(高2・17)が、修学旅行から帰宅直後に自殺。 男子生徒は修学旅行中に担任教師に泣きながら「別の生徒から悪口を言われた」と相談していたことが判明。また、自殺の数カ月前に「人の顔を見るなり、『キモイ』『ウザイ』などを行っているのを、毎日のように聞いているような感じがすると、書かれた作文を残していた。	
313	2008/2/6	北海道芽室町の私立白樺学園高校の男子トイレで、男子生徒(高1・17)が首吊り自殺。 男子生徒は2006/5/頃から2年生3人に殴られるなど暴行を受け、教師らが指導した。2007/1/末には校外の少年に金をせびられたとして、母親が担任教師に相談していた。 男子生徒の遊び仲間の板金工の少年(17)と無職少年(16)を傷害容疑で逮捕。「最初は冗談でやっていたことがエスカレートしてしまった」と話した。 自殺の2日前に、無職少年の部屋で男子生徒に「耳のピアスの穴が小さい。大きくしてやる」と言って、ピアス用の器具を入れて無理やり広げた疑い。また、飲酒を強要していたことも判明。	
314	2008/5/29	福岡県北九州市小倉北区の私立美萩野女子高校の女子生徒(高1・16)が、「ホームページのブログに『死ね』と書き込みされていた」と書いた遺書を残して、自宅で首吊り自殺。 学校側は書き込みがあったことと、書いた生徒が誰かは確認したものの「いじめにあたる事実はない」とする。 女子生徒の父親が、書き込みをした同級生を侮辱容疑で告訴。	
315	2008/9/10	千葉県館山市の市立中学校の男子生徒(中2)が首吊り自殺。 「もうこの世の中につかれました。どこにいくかわかりませんが、さがさないください」との遺書を残していた。 男子生徒は小学校時代からいじめを受けていた。本人の希望で中学は隣の学区を選んだが、所属していた部活動などでいじめを受けていたという。 自殺後に、学校は1、2年生550人を対象にアンケートや聞き取りを実施したが、市教委は父親らに「からかいなどいじめにつながる事実があったが、死に直接結びつく要因は分からなかった」という結論しか伝えていなかった。 2012/9/ 死後4年を機に父親が、「自殺はいじめが原因」として市教育委員会に	

		再調査を求めた。アンケート結果の開示や関係者への聴取などの再調査を求める。 2012/10/ 後任の校長が2011年3月末に、アンケートを廃棄していたことが判明。 2014/9/12 館山市は、遺族の要望を受け、第三者委員会を設置して再調査する方針を発表。	
316	2008/10/10	埼玉県さいたま市の市立中学校の女子生徒(中3・14)が、自殺。 後日、同級生の実名をあげて「復讐はきっちりしますからね」などと書いた遺書が見つかった。 7/上旬 女子生徒は同級生らのプロフに「キモイ」「一緒のプールに入りたくない」「転校生、うまくすれば不登校になるかも」などと書き込まれ、担任が書き込みを認めた生徒ら2人を女子生徒の自宅まで連れて行って謝罪させていた。 さいたま市教育委員会と学校側が遺族を訪問し、再調査結果、「いじめられていると思っていた」「仲間はずれにされているのを見た」「常に一人だった」などいじめの存在をうかがわせる証言はあったが、これらの証言には「憶測が含まれている」として、いじめを否定。	
317	2009/3/3	三重県伊勢市の私立皇学館高校の男子生徒(高1・16)が自殺。 パソコンに残された遺書に、「暴言、暴力、嫌がらせが浴びせられ、精神的に嫌になった」「いじめの醜さを子どもに教えてあげてください」などと書かれ、同級生の男女7人の名前が挙げられていた。また、自分以外にも友人がいじめられていることを伝える内容もあった。 自殺の1週間ほど前に、「首をつる夢を見た」などと、陸上部の仲間に自殺をほのめかすような話をしていた。 学校側が1、2年生の全生徒を対象に調査した結果、男子生徒のクラスでは大半の生徒が自殺した男子生徒へのいじめを認識していたことが判明。	
318	2009/8/21	愛知県名古屋市守山区の歩道で未明、男子生徒(中3・14)が焼身自殺。 2008/11/ 男子生徒の母親は学校に「9月頃から、持病の皮膚炎をからかってあだ名で呼んだり、カバンを引っ張ったりするなどのいじめを受けている」と学校側に相談していた。学校は、いじめにかかわっていた同級生ら7人に注意した結果、いじめはなくなり、今年3月の個人面談でも男子生徒は「いじめはもうありません」と話したと主張。	
319	2009/8/30	静岡県藤枝市の市立広幡中学校の女子生徒2人(中2・13)(中2・13)が、商業施設の立体駐車場から飛び降り自殺。 一人の携帯電話に「学校が楽しくない」「上履きに画びょうが入っていた」などと書かれており、自宅にもメモがあった。同女子生徒は、小学校の頃から仲間はずれにされたり、悪口を言われたりしており、中学入学後、学校はいじめた生徒数人を複数回にわたって指導していた。 2009/6/同生徒は「とても過ごしやすい学級だ」と話していたという。もう一人の女子生徒は、1年生時に男子生徒から悪口を言われたことがあり、2年生になってから不登校が続いていた。2人は同じ小学校出身で、仲がよかった。	
320	2009/11/	高知県高知市の学校法人高知学園の男子生徒(中1・13)が自宅で自殺。 遺書は見つからなかったが、通夜の際に友人が「先輩が(男子生徒に)死んだらいいと言っていた」と手紙で遺族に伝えた。 両親が、学園と当時の担任教諭ら2人に、計800万円の損害賠償を求めて、提訴。 2012/6/5 高知地裁で、学校側に190万円の損害賠償の支払いを命じる。松田典	

		<p>浩裁判長は、自殺による死亡という事実を伏せたまま一部生徒に実施した調査は「自殺の原因がいじめか否かを解明するには不十分」と指摘し「学園の(両親に対する)調査報告義務違反は取り返しのつかないもの」とした。また、担任教諭の配慮を欠いた発言で両親に精神的苦痛を与えたことも認めた。</p> <p>2012/12/20 高松高裁で、金馬健二裁判長は「学校には全校生徒に自殺の事実を知らせたうえで聞き取り調査をするまでの調査義務があったということはできない。つたない点があるものの学校は必要な調査報告義務を尽くしている」などとして地裁判決を一部取り消し。一方、当時の担任教諭が男子生徒の両親に対し自殺の理由について配慮を欠いた発言をしたことについては1審を支持し、担任教諭と高知学園にあわせて30万円を支払うよう命じた。</p>	
321	2010/2/15	<p>東京都清瀬市の市立中学校の女子生徒(中2・14)が、自宅マンションから飛び降り自殺。</p> <p>B5のルーズリーフ1枚を破り取ったものに「死にたい… こんな社会に生きていても 何も得しない もう 私は死にたい 学校なんか行きたくない 皆が敵に見えるから 学校にいる時間 私には苦痛を感じる 2/12(金)は私の命日になることを祝います。(原文ママ) (中略) お父さん お母さん ごめんなさい さようなら」などと手書きされ、いじめを訴える内容もつづられていた。</p> <p>3/10 市教育委員会は、校内の聞き取り調査結果を公表し、「一部の生徒の間で悪口やうわさがあったのは事実だが、いじめの有無は現時点で判断できない」と説明。報告には女子生徒と友人が服装や趣味などをめぐり悪口を言い合ったことがあったなどとする複数の生徒の発言を匿名で列記。自殺前の2月8～10日ごろ、誰かとけんかしている様子なども目撃されていたが、一方的に攻撃を受けたり、仲間外れなどの状態は見受けられなかったとしている。</p> <p>12/ 清瀬市教育委員会の「命の教育」検討委員会は、自殺の原因は不明とする報告書をまとめた。</p>	
322	2010/3/4	<p>鹿児島県南九州市の市立知覧中学校の男子生徒(中2・14)が自宅で首を吊って亡くなっているのを、家族が発見。</p> <p>遺書はなかったが、生徒の自殺後、「金をせびられていたと聞いたことがある」「(生徒が所属していた)野球部の練習の時、スパイクに水が入れられていたのを見たことがある」といった、いじめをうかがわせるような証言が出る。</p>	
323	2010/6/7	<p>神奈川県川崎市多摩区の市立中学校の篠原真矢くん(中3・14)が、自宅トイレで硫化水素自殺。</p> <p>遺書に「死ぬことについてごめんなさい。友達をいじめから助けられなかった。14年間生きていて楽しかった」などと、4人の実名をあけて男子グループのいじめを告発していた。</p> <p>8/25、神奈川県警は今年2月に教室でズボンやパンツを無理やり脱がすなどの暴行を加えた疑いで3人を書類送検。1人(2月時点で13歳)を児童相談所に通告。4人は、いじめた側として遺書に実名が挙げられていた。</p> <p>2010/9/4 学校と市教委が設置した調査委員会は、4人の生徒を含め、真矢くん周辺の一部の生徒からの「いじめ」があったと認定。</p> <p>自殺の外的要因として「いじめ」があったことを認める。</p> <p>学校体勢の問題点について、言及。</p>	

324	2010/6/7	<p>新潟県の県立阿賀野高校の女子生徒(高3)が、自室で首吊り自殺。 「本当は死にたくない」と書かれたノートが見つかったほか、ごみ箱から「なぜ私はくさいのですか。なぜ私はみんなと違うのですか。どうして私は嫌われるのですか。私は来週死にます」とピンクの蛍光ペンで書き殴られたA4サイズのメモが見つかった。 学校はいじめの存在を認めない。</p> <p>2013/3/25 新潟県弁護士会は、両親の人権侵害の申し立てに対して、「いじめと自殺の因果関係は不明」としながらも、「あだ名の命名や流布、体臭の指摘はいじめに当たる」として、いじめがあったことを認め、再発防止に取り組むよう求める勧告書を出した。 2014/12/21 県が設置した第三者調査委員会は、いじめについては「陰口はあったが、いじめとは認められなかった」と結論付ける一方、女子生徒に対して適切な対応をせず、自殺後の調査や遺族対応もずさんだったと同校や県教育委員会の対応に問題があったと指摘。自殺原因については「学校生活や将来に対する閉塞感、孤独感からくる適応障害によるものと考えられる」との報告書をまとめた。</p>	
325	2010/7/21	<p>福岡県太宰府市の私立筑紫台高校の体育館3階の廊下で、剣道部の男子生徒(高1・15)がいじめを受けたと訴えるメールを残して自殺を図る。3日後に死亡。男子生徒は数日前から、母親に「部活が辛い。辞めたい」とメールを送っていた。 3年生数人が「部活動の指導」として、自殺した生徒を含む下級生を平手打ちしたり、正座させるなどしていたことが判明。学校側が「部活動の上級生から“行きすぎた指導”があった」とする報告書をまとめた。しかし学校側は上級生の不適切行為を認めたものの、いじめとは断定せず、自殺との因果関係も不明とする。</p>	
326	2010/8/17	<p>大阪府高槻市の小学校の女子児童(小3・8)が、自室ベランダで首吊り自殺。 女子児童は1月25日に転入。2月1日と15日に、道具箱や教科書、ドリル計12冊に「しね」という落書きがあったが、誰が書いたか特定できなかった。</p>	
327	2010/10/1	<p>秋田県大館市で、市立中学校の男子生徒(中3)が自殺。 市教委は両親に「学校生活でいじめなどの問題はなかった」と報告したが、両親は「自殺したのは教師と生徒による複合的ないじめが原因」「2年生の時からいじめを受けていたのではないか」など再調査を依頼。 9/19 男子生徒は高校進学に際して、市内の志望校に体験入学する予定だったが教師が体験入学の申込用紙を配布した際、この生徒にだけ用紙が渡っておらず、体験入学当日に志望校に集合した際、引率の別の教師が申込用紙の未提出を理由に体験入学を認めず、1人だけ帰宅させていた。また、自殺当日は、学校で別の生徒の学生服が切られ、近くでカッターナイフを持っていたこの生徒が疑われ、学校から生徒宅に「ナイフを持って来ないように」と電話があった。生徒は「何もしていないのに、なぜ僕だけ疑われるのか」と両親に話した直後に自室で自殺したという。</p>	
328	2010/10/23	<p>群馬県桐生市の市立新里東小学校の上村明子さん(小6・12)が自室のカーテンレールにマフラーをかけて首吊り自殺。マフラーは母へのプレゼントに自ら編んだものだった。 明子さんは小学校4年生で愛知県から転校。5年生のとき、授業参観に訪れたフィリピン人の母の容姿について悪口を言われたり、「汚い」「近寄るな」と言われる</p>	

		<p>などのいじめを受けていた。クラス替えをした6年生になっても、無視をされる、仲間はずれにされるなどのいじめを受け、9月中旬からは給食をひとりで食べるが多くなり、休みがちだった。10/21の社会見学に参加した折、同級生に「こんなときだけ来るのか」と言われ、ふさぎこんでいた。両親は6年生になってから10回以上、学校側にいじめを訴えていた。翌年3月には大阪方面に引っ越すことも考えていた。</p> <p>学校は学級内で孤立していたことは認めながらも「いじめの認識はない」と否定。2011/3/29 桐生市が設置した第三者調査委員会が、いじめを自殺の「大きな要因の一つ」と位置づける一方で、「唯一の原因とは判断できない。家庭環境などの他の要因も加わり、自殺を決意した」と結論。「プライバシーの問題がある」として、調査報告書の全文は遺族にも公開していない。</p> <p>2014/3/15 前橋地裁で、いじめと自殺との因果関係や学校の安全配慮義務違反を認めて、市と県に450万円の支払いを命じた。(被告控訴)</p>	
329	2010/10/25	<p>東京都足立区の区立中学校の男子生徒(中3・14)が自宅の裏庭で自殺。男子生徒の制服のポケットと部屋から、侮辱されたことを自殺の理由とする遺書が2通見つかった。また、「7回死にたいと思ったら死のうと決めていた」などと書かれていた。</p> <p>2013/11/21 調査委員会は「侮辱的な呼び名で呼ぶ行為」を男子生徒にとって心理的な攻撃による深刻ないじめであったとして、自死の要因のひとつになったと認める報告書を区に提出。</p>	
330	2010/11/14	<p>千葉県市川市の市立下貝塚中学の男子生徒(中2・14)が、自宅で首つり自殺。11/1 学校が実施したアンケートで、「暴言や悪口による嫌がらせ」「物を隠される」「自分だけ集中的に何かされる」「訳もなくたたかれたり、殴られたり、けられる」の4項目を選び、いじめが「続いている」と回答。具体的には「ズボン下ろし」と記述していた。</p> <p>11/10 担任教師に面談で、「いじめる生徒」として、同学年で別のクラスの男子生徒1人の名前を挙げていた。学校側はこの1人を含む生徒3人に事情を聴く予定だった。</p>	
331	2010/11/22	<p>北海道札幌市立伏見中学校の女子生徒(中2・13)自宅があるマンション6階から飛び降り自殺。自宅居間に置いてあった遺書には「1年生のとき無視されたり『キモイ』と言われた」という内容やいじめをしていたとみられる男女複数の生徒名、「学校のスピーチが嫌だ」といった内容が書かれていたという。</p> <p>2010/12/22 同市教育委員会と中学校は、いじめは確認できなかったとする調査結果を公表。</p>	
332	2011/4/	<p>熊本県八代市の市立中学校の男子生徒(中3・14)が自宅で自殺。生徒の着衣から、加害者側の男子生徒数人の名前と「つらかった」と書かれたメモが見つかった。</p> <p>調査の結果、校内で仲間外れや言葉の暴力などがあり、市教委は「いじめが原因の自殺」と結論づけた。</p> <p>2012/9/10 市教委はこれまで「そっとしておいてほしい」という遺族の意向を踏まえ、公表を控えてきたが、いじめなどに関する国の全国調査が発表されるのに合</p>	

		わせ、公表に踏み切ったという。	
333	2011/8/30	<p>北海道札幌市手稲区の市立前田北中学校の男子生徒(中2・13)が、9階建マンションの屋上から投身自殺。</p> <p>7月初旬に作成したと思われるパソコンの文書があった。屋上近くの非常階段の壁に「ここから落ちて死ね」との落書きがあった。</p> <p>7/8 三者懇談で、複数の友人に陰口を言われているなどと相談。特定の個人名は挙げなかった。担任は学級全体に話をするなどの指導をした。</p> <p>自殺の前日、パソコンを通して友人に自殺をほのめかし、行方が分からなくなっていることを心配した母親が警察に捜索願を提出。友人宅にいるところを保護。生徒は「死にたい」と漏らしていた。家族全員と担任を交え話し合った結果、生徒は「明日は学校に行く」と話したという。</p> <p>生徒は朝、制服姿で家を出たまま行方が分からなくなったのを、午前9時ごろ、捜していた教諭が屋上にいるのを見つけ、飛び降りないように呼び掛けたが自殺した。</p> <p>外部調査の結果、「原因が特定できない」と結論。一方で、「生徒の変化や言動の背景に対して、もう一步踏み込んだ取り組みは可能だった」とした。</p>	
334	2011/9/1	<p>鹿児島県出水市で、市立中学校の吹奏楽部の中村真弥香(まやか)さん(中2・13)が、九州新幹線に飛び込み自殺。</p> <p>事件直後に学校側は、全生徒を対象にアンケートを実施した結果、学校・教育委員会は「直接のきっかけとなる出来事は確認できなかった」と結論。</p> <p>一方、遺族が独自調査をおこない、「物がなくなったり、スリッパがグチャグチャにされたりしていた」「いじめられても『どうしたらいいかわからない』と言っていた」などの回答が十数人から得られた。また、所属していた吹奏楽部で楽器を壊され、同級生らから弁償を強要されるなどしていたという。</p> <p>学校の調査でも、同様の内容が記載されていたというが、「断片的な情報や憶測・伝聞情報が含まれている」などとして、二次被害を防ぐために、非開示とするという。</p> <p>2014/4/45 遺族がいじめに関するアンケート内容を開示しないと教育委員会の決定の取り消しを求め、鹿児島地裁に提訴。</p>	
335	2011/10/3	<p>近畿大学付属東広島高等学校の男子生徒(高2)が自殺。</p> <p>自殺直前、ツイッターに、家族や友人に宛てた文章を書き込んでいた。</p> <p>同級生の男子生徒がツイッターで、「死ね」という言葉を数百回繰り返すなどしていた。また、亡くなった男子生徒は担任教師から、殴る蹴るの暴力を受けていた。</p>	
336	2011/10/11	<p>滋賀県大津市のマンションから、市立中学校の男子生徒(中2・13)が投身自殺。学校側は当初、「いじめは把握していない」としていた。</p> <p>10/17-19 市教委は全校生徒859人を対象に文書でアンケート。約8割の生徒が回答し、この中に転落死した男子生徒に対していじめが行われていたとの記述があったため、生徒たちに直接聞き取りを始めた。結果、男子生徒が死亡の約1カ月前から、同級生数人に殴られたり、ズボンをずらされたりする、死んだハチを食べさせられそうになる、腕で首を絞められる、昼食のパンを食べられる、などのいじめ行為があったことが判明。また、男子生徒は加害生徒に、「ぼく死にます」と電話していたという。</p>	

		<p>2012/ 男子生徒の両親が、いじめ行為をした男子生徒3人とその保護者、大津市に約7720万円の損害賠償を求めて提訴。</p> <p>2015/3/16 市と和解。</p>	
337	2011/10/27	<p>大阪府貝塚市の府立定時制高校の川岸朋之くん(高1・18)が、商業施設跡地で、首吊り自殺。</p> <p>持っていた携帯電話に、特定の男子高校生の名前をあげて、「もっと生きたかったし。もっとみんなと遊びたかったし。もっと楽しい事したかった。死にたくない。死ぬのは怖い。でも死ぬしかないと思った。『生きる』選択肢が無かった。みんな相談もせんとごめん。今までありがとう(2011/10/25)、「16日までに38000円は無理や。払えたとしても、なんやかんや話だしてきて、取られるのが目に見えている。悪魔や。もうそんな事誰にもせんといて欲しい。俺が死んだらやめるかな」「こんな理由で死んだら、恥ずかしいけど、一生金ヅルはしんどいなあ。怖い。怖い。毎日ビクビクせな あかん」「この日2時に自殺しようとしたけど怖くてできへんかった。また1日電話ビクビクせなあかん。金用意できるんかってゆう電話がこないで欲しい。」「二色浜到着。泣けてきた。今日で死ぬ。やっと楽になれる」(2011/10/26)などのメッセージを残していた。</p> <p>朋之くんは、中学時代の同級生の高校生や専門学校生らのグループに、賭けトランプに負けた金の未払い分の名目で、15万円の借用書を書かされていた。</p> <p>自殺当日、携帯電話に少なくとも約20回、専門学校生から電話がかかっていた。大阪府警は恐喝容疑で捜査したが、立証が困難として、約2か月後に捜査を打ち切っていた。</p> <p>2012/5/ 専門学校生は、別の窃盗容疑で逮捕され、少年院に送致。</p> <p>2012/6/26 友人から新たな証言が得られたため、捜査再開。</p>	
338	2011/11/	<p>宮崎県新富町の町立中学校の男子生徒(中2・14)が自殺。</p> <p>男子生徒は母親に、「いじめられている。クラスに居場所がない」と相談した後、不登校になっていた。</p> <p>2012/9/ 両親は「いじめがあった可能性が高い」として、学校に無記名でのアンケートや保護者会の開催などを要請。学校は翌月(2012/10/)、記名式アンケートを行い「いじめはなかった」と両親に報告した。</p> <p>2013/3/ 男子生徒の両親が、いじめが原因だった可能性があるのに十分な調査や遺族への報告をしなかったために精神的な苦痛を受けたとして、町に約280万円の損害賠償を求めて提訴。</p> <p>2014/8/6 宮崎地裁は原告の訴えを棄却。生徒に起こった事故について、学校側は原因を調査し保護者に報告する義務はあるとした上で、具体的な方法や程度は場合によって異なり、この事例では学校側が義務を尽くしたと判断。またアンケートでいじめを否定する回答があったことや、不登校から1年後に自殺していることから、自殺との因果関係を認定するのも難しいと指摘。</p>	
339	2011/11/26/	<p>富山県射水市の市立中学校の男子生徒(中2・14)が自殺。</p> <p>男子生徒は今年6月、校内で実施した「いじめ」調査の際、「複数の男子生徒にからかわれたり、暴力を受けている」と相談。学校は、名前が挙がった複数の2年生の男子生徒に口頭で注意したというが、今月行われた調査の際にも、「いじめが続いている」と話していた。</p> <p>亡くなる2日前に、担任と面談した際にも、他の生徒から暴力を受けていると相談</p>	

		<p>し、学校側は対応を検討していたという。</p> <p>一方、学校は死亡した男子生徒が成績について悩んでいたとして、「いじめ」だけが原因ではないとする。</p> <p>12/1 父親が市教育委員会を通じて報道各社に「いじめを苦にして自ら命を絶ったと言われているが、それは大きな間違い」などとした手記を寄せた。</p> <p>父親は、いじめは以前から何度もあったとしながらも「自分を追い込んでしまったのが(自殺の)原因」「他の子と同じようにできない自分に対するコンプレックス」などと説明。</p>	
340	2012/6/12	<p>静岡県浜松市の市立曳馬中学校の男子生徒(中2・13)がマンション屋上から飛び降り自殺。</p> <p>2012/4/ 男子生徒は自宅近くで5～6人の同級生らに囲まれ、自転車を蹴られたり、体を押されたりしているのを周辺住民が目撃していた。</p> <p>校長は保護者集会で「いじめがあったと思う」と発言したが、市教委は「死との因果関係が認められるものは確認できていない」として、いじめが自殺の原因であるという認識は否定。</p> <p>男子生徒の死後、「いじめがあったのではないか」との遺族の指摘を受け、関係者から事情を聴き、同じクラスや部活の生徒らに聞き取りや記名式のアンケートをしたが、「新たな事実は見当たらなかった」という。</p>	
341	2012/7/10	<p>熊本県和水(なごみ)町で、町立中学校の男子生徒(中3・14)が自宅で自殺。</p> <p>衣服のポケットから、「つらかった」との内容と、いじめた数人の生徒の名前が書かれたメモが見つかった。</p> <p>自殺を受け、全校生徒を対象に学校がアンケートを行った結果、男子生徒が投石されたり、上靴を女子トイレに投げ込まれたりしていたことが判明。</p> <p>また、自殺直後に生徒に聞き取り調査を実施した結果、部活動や学級で、男子生徒を仲間外れにしたり、言葉の暴力を浴びせるなどの嫌がらせを確認。</p> <p>2012/8/ 井上忠勝町教育長は、「からかいや意地悪、悪ふざけのいじめがあった」とししながらも、「精査した中ではいじめが(自殺に)直接原因となるようなことはなかったというのが揺るぎない信念」として、いじめと自殺との因果関係を否定。</p> <p>2014/4/4 町が世知下第三者委員会は生徒へのいじめ行為 11 件を認定。自殺の原因については、「本人の性格や家庭環境、学校生活が複雑に関係し合って生じたと考えられた」としたものの、いじめも一因になったと判断。</p>	
342	2012/8/16	<p>茨城県常陸太田市の市立中学校の男子生徒(中2)が自殺。メモにいじめていたとみられる生徒数人の名前が書かれていた。</p> <p>7月13日、大津市の中学生の自殺を受けて行った緊急アンケートでは、「他の生徒からいやな思いをさせられている」との回答が6件あったが、自殺した男子生徒は含まれていなかった。</p>	
343	2012/9/2	<p>兵庫県川西市の県立高校の男子生徒(高2・17)が、自宅で首つり自殺。</p> <p>男子生徒は複数の生徒から、教室の椅子に蛾を置かれたり、「ムシ」や「菌」と呼ばれたり、勝手に椅子や机を移動されたりしていた。</p> <p>学校が両親に、男子生徒の死について、「学年集会で不慮の事故と説明させてもらえないか」と打診し、断られていたことが判明。</p> <p>兵庫県教育委員会が設置した第三者委員会の報告書で、いじめがあったと認定したが「自殺と関連付けることは困難」と結論付けた。</p>	

		<p>県警は同級生3人を侮辱容疑で書類送検。 2013/12/4 当時の同級生3人や担任、兵庫県などを相手取り、計約8800万円の損害賠償を求める訴訟を神戸地裁に起こした。</p>	
344	2012/9/5	<p>北海道札幌市白石区の市立中学校の男子生徒(中1・12)が自宅マンションから飛び降り自殺。「いじめられていて死にたい」「死んだらどうなるか知りたい」などと記されたメモ1枚があった。いじめの内容や相手に関する記述はなかったという。</p> <p>5月31日、実施した校内アンケートでは1年生10人から「いじめがある」との回答があったが、男子生徒に関する記述はなかった。</p>	
345	2012/9/26	<p>東京都品川区の区立中学校の男子生徒(中1・12)が自宅マンションの自室で首吊り自殺。机の上に「さよなら」と書かれたメモがあった。</p> <p>7月に学校が実施したいじめに関するアンケートで、「5月に文房具を壊された」などと回答していたが、「解決しよう」という選択肢にまるをつけていた。</p> <p>自殺後に学校側が同級生らに聞き取り調査したところ、「クラスで無視されていた」「『消えろ』『バカ』などと言われていた」「廊下で複数の生徒に殴られたり、蹴られたりしていた」などの証言があった。校長は、「いじめが自殺の原因になった可能性が高い」と認める。</p> <p>区は当初、校長ら学校関係者と区教委で構成していた調査対策委員会のメンバーをすべて入れ替え、遺族1人、学識経験者4人、都教委1人に変更。学識経験者のうち一人は遺族が推薦。</p> <p>2012/11/5 調査対策委員会が、「いじめが自殺の誘因となった」とする報告書を区議会に提出。</p> <p>2012/11/15 品川区長が、「さらに調査すべきことがある」として、調査の継続を表明。</p> <p>2013/1/31 遺族が警察に、暴行容疑で被害届を提出。</p>	
346	2012/12/8	<p>神奈川県座間市で、都内の私立中学校に通う女子生徒(中1・13)が、鉄道自殺。女子生徒のノートには「今日されたことを言おうかな。いろいろされたけど何があったかは言わない」などとした上で、複数の名前が記されていた。</p> <p>女子生徒の父親が、11月15日に「娘がいじめで悩んでいる」と担任に相談。翌16日に担任が1時間半かけて女子生徒から話を聞いたが「友人関係がうまくいかなかった。どう接したらいいのか」との内容で、女子生徒が「友人関係を続けたい」と希望したため、関係する生徒に直接、女子生徒への対応を指導していなかった。</p>	
347	2013/3/28	<p>奈良県橿原市の公立中学校の女子生徒(中1・13)が自殺。</p> <p>女子生徒は親しかったグループで度々無視され、昨秋ごろから孤立しがちになった。無料通信アプリのLINE(ライン)上では、女子生徒が読めないように設定し、「うざい」と書き込まれることもあった。</p> <p>また、月末～3月初旬には、「はみられて(仲間外れにされて)しんどい。死にたい」と複数の友人に泣きながら相談。自殺の数カ月前には、自分のノートに同級生の名前を挙げて「何かしたんかな? 自分はいらん子なんかな? 死ぬるもんなら、死にたい」と書いていた。複数の生徒によると、女子生徒は両親の再婚についても陰口をされていたという。</p>	

		<p>2013/6/ 市教育委員会の教育長は、学校が実施した生徒アンケートに「いじめをうかがわせる回答があった」としながら、自殺との因果関係は「低い」と否定。学校は「家庭内の悩みを聞いている生徒もおり、自殺の原因は分からない」とした。</p> <p>2013/7/18 市教委が調査委員会を設置。</p>	
348	2013/4/10	<p>神奈川県湯河原町の町立湯河原中学校の男子生徒(中2・13)が、自宅の自室で自殺。部屋にはメモのような遺書があった。</p> <p>翌日(4/11)、学校が同じ学年の生徒190人全員にアンケートを行ったところ、複数の生徒から、かばんを持たされていたり、たたかれていたなど、いじめを思わせる記述があった。</p> <p>2014/3/4 湯河原町教育委員会は、「生徒の自死はいじめの結果によるものと推認できる」とする第三者委員会の調査報告書を発表。</p>	
349	2013/4/11	<p>熊本県山都町の県立矢部高校の寮で暮らす女子生徒(高3・17)が、自宅敷地内の納屋で首吊り自殺。</p> <p>携帯電話に、体育祭に向けたダンスの練習で周囲の言動に悩んでいたことや「つらい学校生活の中で」などの言葉が残されていた。</p> <p>女子生徒と顔見知りの生徒によると、亡くなる前から仲間外れにされているという噂があったという。</p> <p>2005/1/15 知事部局が設置した第三者委員会は、①「全然踊れていない」とみんなの前で言われた、②「顔がキモイ、動きが鈍い」といった言葉を投げかけられた、③泣き出すと「お前が踊れんとが悪かるがー」と言われた、④踊れない姿を携帯電話の動画で撮影され、「マジうける」と笑われたなど9項目をいじめと認定。そのうえで、「自尊感情が低下し、強い孤立・孤独感、つらい状況への絶望的な気持ちなどが重なり、死の選択につながった」「いじめが要因の一つになった」との報告書をまとめた。</p> <p>また、高校側の調査はいじめを認めながら、自殺との因果関係は明確にしておらず、第三者委は「調査や分析が不十分」と批判した。</p>	
350	2013/5/7	<p>広島県廿日市(はつかいち)市の市立中学校の女子生徒(中3・14)が、自宅で自殺を図る。(5/8死亡)。</p> <p>2013/2/ 女子生徒は、複数の生徒とトラブルになっていることを相談していたという。</p> <p>2013/11/16 外部有識者を含めた調査委員会は、女子生徒の友人への聞き取りなどを実施した結果、「悪口を言われたり、仲間はずれにされており、いじめの可能性は否定できない」とした。一方、「いじめが自死に至る精神的苦痛を招いた大きな誘因であることは間違いないが、自死の原因のすべてをいじめに求めることはできない。」とした。</p>	
351	2013/5/17	<p>長野県富士見町の町立中学の男子生徒(中3・14)が自宅で自殺。遺書に「嫌いな生徒」として個人の名前が書かれていた。</p> <p>2013/12/27 町が設置した調査委員会は、学校でいじめがあったことを認めた上で「自殺の大きなきっかけとまでは言えない」とする報告書を公表。</p> <p>報告書によると、男子生徒は5月の大型連休明けに学校のベランダで10回以上、友人グループにほおをたたかれた。男子生徒は中学1年時から周囲に「死にたい」と話しており、5月1日には「練炭を買ってくるね、そして死ぬわ」と友人に告</p>	

		<p>げていた。 調査委は、5月9日実施のテストで成績が下降したことなども重なって自殺に至った可能性が高いと推定。いじめの前に自殺を決意した可能性も少なくないとしている。</p>	
352	2013/7/7	<p>長崎県長崎市の市立小学校の女子児童(小6・11)が自殺をはかり、意識不明の重体。その後、死亡。</p> <p>2/ 5年生当時、課外クラブの朝練習で、女子児童の靴が隠され、校舎内で見つかったが、誰が隠したのかは分からなかった。 7/3 修学旅行に向けた班決めが行われたが、翌日、同じ班になった同級生1人が、女子児童を仲間はずれにしようと他の3人に呼びかけた。3人は同意せず、担任に相談して発覚。 7/5 同級生らは女子児童に謝罪し、学校は保護者に報告。女子児童は「仲間はずれにされそうになったのを止めてもらってうれしかった」と担任に話していたという。</p> <p>2015/2/2 外部調査委員会は、①5年生時の上靴隠し、②修学旅行の班決めの際の仲間はずし、③具体的なあだ名でのからかい、の3つをいじめと認定。「いじめを含めた精神的苦痛の積み重ねが、当該児童を追い詰めた可能性が高い。」と判断。</p>	
353	2013/7/10	<p>愛知県名古屋市の市立明豊中学校の男子生徒(中2・13)が、制服姿で自宅近くのマンションから飛び降り自殺。</p> <p>自宅から「まず自殺しようと思ったのはなぜかですが、一つ目、自分自身に嫌気がした。二つ目、いろんな人から死ねと言われたということがあったからです。一つ目については、うそをたくさんつく。提出物も出さない。そんな自分が嫌になりました。先生や両親には、こんな自分を変えなくて、申し訳ないです。二つ目は、そのままあえて名前は挙げません。気付いてあげられなかったなどと後悔しないでください。自分から隠していたのです。大丈夫のように振る舞っていたのです。悪いのは自分と一部の人のからです。さようなら。もし死後の世界があるなら見えています。ありがとう。」と書かれた学習用ノートが見つかった。 自殺当日、男子生徒が周囲から「死ね」と言われて「自殺する」と言うのを聞いた担任教師は「そんなのやれる勇気ないのに、やってみろ」と言ったと、同級生が証言。</p> <p>2014/3/27 検証委員会は、自死の要因は、「提出物忘れ」と「いじめ」と認定。当日のAの「死ぬわ」の発言に対しての担任の発言は、聞いた生徒は「いずれも「そんなことを言っはいけない」という制止の意味と受け止めていたとした。</p>	
354	2013/8/17	<p>熊本県熊本市の県立高校の女子生徒(高1)が夏休みに実家に帰省中、自宅で首吊り自殺。</p> <p>女子生徒は普段、熊本市内にある高校の寮で生活していた。 入学後、女子生徒がLINEで「雑用をさせられるのがつらい」との趣旨の書き込みをしたことをきっかけに、複数の生徒からLINEのグループチャット上で、「レスキュー隊を呼んでおけ」などと脅迫めいた書き込みをされたり、女子生徒への強制</p>	

		<p>的な呼び出しや身体的特徴をからかう内容の言葉も書き込まれていた。他にも私物の入浴セットを隠され、卒業アルバムに落書きされるいじめも受けていた。</p> <p>自殺の約2カ月前に女子生徒の両親から相談を受けた学校側が、生徒同士で1回話し合いをさせただけで解決したと判断していた。トラブルは解消されず、女子生徒は帰省中、保護者に「学校をやめたい」と打ち明けていた。</p> <p>県教委は女子生徒が同級生の1人からいじめを受けていたことは認めたが、自殺といじめの因果関係は不明とした。</p> <p>2014/8/ 保護者からの刑事告訴を受けた熊本県警は、同級生を地検へ送検し、家庭裁判所に送致。</p>	
355	2013/10/24	<p>日本大学ボート部の埼玉県戸田市の合宿所の個室で、男子部員(大3)が首吊り自殺。</p> <p>親族によると、この部員は以前に先輩に羽交い絞めにされて両眉毛をそり落とされ、部の体質を嘆くこともあったという。大学は関係者から事情を聴くなどして調査を開始。</p> <p>2013/10/28 大学は、弁護士3人からなる第三者特別調査委員会を設置。調査委員会は部員らに聴き取り調査を行った結果、「他の部員がからかうことはあったものの、精神的負担を与えたとみることはできない」「自殺の原因は不明」と結論。</p>	
356	2013/11/14	<p>福岡県春日市の私立高校の男子生徒(高3・18)が、いじめをうかがわせる書き込みを残してマンションから飛び降り自殺。携帯端末には個人名を挙げ「絶対に許さない」などと書かれていた。</p> <p>2014/2/ 遺族が警察に被害届を提出。</p> <p>2014/3/6 福岡県警は、同級生の少年7人(高3・17-18)を暴力行為法違反容疑で書類送検。</p> <p>2013/10/1-11/6 同級生らは共謀して、教室や調理実習室などで生徒に対して5回にわたり、殴ったり蹴ったり、熱したおたまを口元に押し当てたりなどの暴行を加えたとしている。7人は「生徒のリアクションが面白くてやった。申し訳ない」と容疑を認め、反省しているという。こうした暴行は高校2年時から続き、他にも複数の同級生が関与したとみられるが、学校側は把握していなかったという。</p>	
357	2014/1/7	<p>山形県天童市の市立中学校の女子生徒(中1・12)が山形新幹線に飛び込み自殺。</p> <p>女子生徒の自宅にあったノートに「独りだった。中学に入学してからは、陰湿な『イジメ』にあっていた。何が悪いのかも分からずに、ずっと、陰口を言われていた」「本当は『死』にたくなかっただけに。ダレカ、タスケテよう」「幸せニシテよう」などの記述があった。</p> <p>校長は「これまでの学校生活に問題はなく、いじめも確認されていない」と説明。その後、昨年6月6日に女子生徒から訴えを受け、母親が担任にいじめを心配して相談を寄せていたとするが、学校側は「いじめの相談は受けていない」と言い分が食い違っている。また、昨年9月の調査で、女子生徒が友人関係について不安を訴えていたことなどが明らかになる。</p> <p>1/15 学校が全校生徒532人を対象にアンケートを実施。生徒約530人が回答。</p>	

		「うわさで聞いた」などの内容を含め、100人以上の生徒がいじめについて記述した。「いじめを直接知っている」とした回答は十数件あった。	
358	2014/1/8	<p>長崎県新上五島町の町立奈良尾中学校の松竹景虎(まつたけかげとら)くん(中3・15)が、公営グラウンドで首吊り自殺。</p> <p>2013/11/ 景虎君は無料通話アプリ「LINE」(ライン)を使って複数の同級生に「死ぬ前にやるのが3つ」などと記述し、自殺前日には「死ぬ準備はできている」、当日には同級生に「さようなら」などと送っていた。一部の同級生の保護者も知っていたが、誰も両親や学校に伝えなかった。</p> <p>2014/1/9 学校は複数回、同級生20人へのアンケートや聞き取り調査などを実施。</p> <p>1/下旬、町教委は両親に「いじめは見つからなかった」と報告。</p> <p>3/下旬、同級生2人が松竹家を訪問。両親に「景虎君はいじめを受けていた」と証言。クラス内で「うざい」「嫌い」などの悪口を日常的に言われ、「自分はみんなに嫌われている」と悩んでいたという。</p> <p>町教委はいじめがあったことを認めたが「自殺の原因とは断定できない」という。</p> <p>2014/ 町は第三者委員会を設置。</p>	
359	2014/2/24	<p>広島県三原市の県立総合技術高校の男子生徒(高1・16)が自宅で首つり自殺。男子生徒は野球部に所属し、21日まで登校して部活動にも参加。22、23日は体調不良を理由に部活を休んでいた。</p> <p>生徒の両親は学校側に「部活を休んだ後、部室内のロッカーが荒らされたり、休んだ理由をほかの部員から厳しく問い詰められたりしていたようだ」と説明。学校側が聞き取りをした結果、ほかの部員からも、両親と同様の証言を得ているという。</p> <p>2014/3/26 総合技術高校の調査委員会は、男子生徒が自殺した原因について、野球部内のいじめが原因と結論付け、部内の指導についても「互いに思いやる心の育成が十分でなかった」と落ち度を認めた。</p>	
360	2014/3/12	<p>北海道札幌市の市立小学校の男子児童(小5・11)が自宅で自殺。札幌市教育委員会は遺族の意向で、精神科医や弁護士の助言を受けながら調査した結果、学級は「5年生2学期後半から、複数の児童が表だって担任に反発するなど極めて落ち着かない状態」で、「物が隠されたり、悪口が書かれたメモが机に入れられるなど、いじめを疑わせる事案」も起きていたという。</p> <p>2014/12/9 市教育委員会は、学級崩壊で教師と児童の信頼関係が損なわれていたと発表。</p>	
361	2014/5/31	<p>岩手県滝沢市の市立南中学校の男子生徒(中2・13)が自宅近くで首吊り自殺。</p> <p>2014/7/12 校長や市教委関係者らで組織する調査委員会は中間報告で、亡くなる3週間前に筆箱やペンを隠されトイレで泣いていたことや、去年、生徒2人が男子生徒にカッターナイフを向け教員が指導したことについて、「遊びの延長と考えており、今のところ、いじめという認識はない」と説明。</p> <p>その後、全校生徒に実施したアンケートで、回答者の27%が「いじめを見聞きした」と答え、学校側は遺族に「いじめと疑われても仕方ない」と報告。</p> <p>2015/3/25 市教委が設置した第三者調査委員会は、「いじめが直接的原因に</p>	

		<p>なつたと、とらえることはできないが、いじめと自死との間に、ある一定の関連性があったものといじめを含めた複合的な要因が自死につながったと結論。</p>	
362	2014/7/4	<p>青森県八戸市の県立八戸北高等学校の女子生徒(高2・17)が医療機関受診後に登校し、昼休みにいなくなった。 7/8 八戸沖で遺体発見。 女子生徒は、「存在自体がうざい」などと中傷されたことを記したと思われる表現をノートに残していた。 2014/1/ 女子生徒の母親は「(複数の生徒との)人間関係に悩んでいる」と学校に相談していた。 有識者でつくる第三者機関「県いじめ防止対策審議会」を設置。 2014/12/23 第三者機関は、いじめに相当する行為はあったと判断するが、「顕著な悪質性はなく、自殺はいじめにより直接的に引き起こされたものではない」「重度の摂食障害と抑うつ、体調不全、友人関係、学業成績、孤立への不安、自尊心や自己評価の著しい低下などの幾重にも重なった複合的因子により惹起された」と最終報告。 2015/3/3 知事付属の第三者機関は、「いじめは自殺の直接原因とは言えず、摂食障害の重症化が自殺の主たる要因と考えられるが、高校入学後のいじめなどのストレス要因の発生と、居場所などの環境要因の弱体化により、摂食障害が発症し悪化していったと考えられることから、いじめと自殺の間には、一定の因果関係があったものと推察する」と結論。</p>	
363	2014/11/3	<p>埼玉県さいたま市の中高一貫制の市立浦和高校の男子生徒(高3・18)が鉄道自殺。 2014/12/ 学校が、同級生全員や教職員を対象にアンケートや聞き取り調査を実施した結果、「いじめは確認できなかった」と報告。 男子生徒の両親は、中学1年生頃から容姿についてからかわれ続け、自殺の1週間前には親に学校生活への不満を打ち明けたり、学校や塾を休むようになったと主張。</p>	
364	2014/12/1	<p>群馬県伊勢崎市の市立小学校の男子児童(小6・12)が、自宅のあるマンション7階から飛び降り自殺。 2013/9/ 男子児童はフィリピンから来日。日本語が堪能ではなく、科目によっては別の教室で授業を受けていた。 母親は新聞取材に、「11月21日に学校で同級生にいじめられ、殴られたのでやり返したと話していた。」「過去に担任の先生からばかにされたこともあったと言っていた。」「校内でいじめがあったかどうか、まずは学校に調べてほしい」と話した。</p>	
365	2015/3/20	<p>熊本県熊本市の市立中学の女子生徒(中2・14)が自殺。 3/12 女子生徒と母親は学校に「中学の友人から嫌なことを言われている」と相談。翌日から学校を休んでいた。</p>	